

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（122）」

2. 日時：令和3年4月21日（水）13時30分～16時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：藪執行役員 他9名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所の基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波）

・泊発電所の基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁タニです。
0:00:05	今日はですね、泊発電所の基準津波に関するコメント回答日本海等縁部に想定される地震に伴う津波ということで、ヒアリングを行いたいと思います。
0:00:19	まず北海道電力から資料の
0:00:23	説明のほうをお願いいたします。
0:00:28	はい、北海道電力の松村です。
0:00:31	日本回答縁部に想定される地震に伴う津波ということで、昨年 12 月のヒアリング、それから、最近のサイトの状況等踏まえまして資料を修正して参りましたので、説明させていただきます。
0:00:47	資料はアオキのほうから説明いたします。よろしくをお願いいたします。
0:00:53	北海道電力の青木です。資料ですが 2 種類用意させていただきまして、そのうち 420 ページほどあれ分厚い資料のほうで説明させていただきます。
0:01:03	主に前回の例は 2 年 12 月のヒアリングからの変更点に重点を置いて説明させていただきます。
0:01:11	ページめくっていただいて、2 ページをお願いします。
0:01:15	本日の説明概要となります。
0:01:17	こちらのスライドの下側に基準津波の全体に関わる工程をスケジュールを示しております。このうち日本海等縁部に想定される地震に伴う津波の評価として、日本海等縁部の特性整理理想定波源域の設定。
0:01:34	基準波源モデルの設定パラメータスタディ評価用の想定津波の設定について今回説明させていただきます。
0:01:43	ページめくっていただいて、5 ページをお願いします。
0:01:49	こちら例は元年の 9 月 27 日の審査会合における指摘事項一覧を記載しております。
0:01:55	こちら指摘 No.1 から 9 までありまして、この 1 から 9 のすべてに対して、今回説明させていただきます。
0:02:03	この内容についてですが、ページ番号 8 番をお願いします。
0:02:11	こちら指摘事項に対する回答方針を一覧でまとめております。このうち指摘 No.1 をお願いいたします。
0:02:19	指摘事項のうち中段から健全地形における評価時点と敷地北側防潮低の損傷を考慮した地形における評価地点については評価の目的を整理した上でそれぞれ適切な評価地点として設定すべき。
0:02:32	これに対して回答方針としましては、防潮というを越流し、津波が流入する可能性の高い波源の選定を目的として、評価地点防潮低の前面の最大ケースを選定いたします。

0:02:45	また敷地北側防潮ていうのは損傷した場合に、防潮で全面に到達する可能性の高い波源の選定を目的として、評価地点敷地北側の最大ケースを選定いたします。
0:02:57	また敷地北側防潮低の損傷が津波評価有意な影響がないことを別途確認いたします。
0:03:04	続いて指摘No.2の
0:03:06	指摘事項となります防波堤の南側、北側の損傷に加えて敷地北側防潮低の損傷の組み合わせについて検討すること。
0:03:16	こちらの回答方針ですが、複製の地形モデルを用いたパラメータスタディを実施しております。
0:03:22	その地形モデルにつきましては、北防波堤ありとなし南防波堤ありとなしのそれぞれの組み合わせの4地形として健全地形モデルと防波堤の損傷を考慮した地形モデル①から③、④地形に対してパラメータスタディを実施しております。
0:03:39	また、敷地北側防潮ていうの損傷の組は引き敷地北側防潮低と防波堤の損傷の組み合わせが津波評価有意な影響がないことを別途確認しております。
0:03:50	続いて指摘No.3と4につきましては、断層面上縁深さと波源位置に関わるコメントですが前回のヒアリングで教えを説明しているの今回説明は省略させていただきます。
0:04:03	続いてページ9ページに移っていただいて、指摘事項を拒んをお願いします。
0:04:09	ちょっと例えば以降のところですが、断層パターン5の断層面下端を地震本部におけるひずみ集中体の東端に設定した場合の検討などをする事。
0:04:20	に対しまして回答方針としては、日本海等縁部の特性整理を踏まえた上で、土木学会に基づく断層パターンの1から8に準じて検討を行っております。こちらを基本としまして、指摘事項を踏まえて断層パターン5東端に設定した場合より、
0:04:37	断層末端1から8のほうが泊発電所に対して保守的な津波評価であることを津波シミュレーションにより確認を行っております。
0:04:46	続いて指摘あなば6については、多くの時の評価についてですが、こちらについては前回方針を説明しておりますので、説明は割愛します。
0:04:55	指摘No.7番です。
0:04:58	社長履歴を下回る時間に着目したパラメータスタディの必要性について検討することとありました回答方針としましては、最大水位変動量に着目したパラメータスタディの実施ケースを対象として取引を下回る時間を確認しました。

0:05:15	を下回る時間に着目したパラメータスタディを実施した場合においても十分な調整容量を確保できる見込みであるというところから奨励金を下回る時間に着目したパラメータスタディは実施しないこととしております。
0:05:29	続いて指摘No.8 です。
0:05:31	社長履歴天端を一時的に上回る発見を考慮しないで時間を算出するなど保守的な時間評価を検討することがありました回答方針としまして、矢羽の上側のもの。
0:05:43	取引を下回る時間というところで、下回る時間が最長となる人ハケの時間を基本としてまず整理しております。そこからさらに保守性を考慮した時間ということで鳥類で今日下回る時間に保守性を考慮し、監視領域の性状書を無視した複数派遣の時間、
0:06:02	この日、こちらの2種類の時間について整理しております。
0:06:07	続いて指摘No.9についてはホルストの記載に関わるコメントでしてこちらは前回ヒヤリ説明済みなので説明は省略します。
0:06:16	ページめくっていただいて10ページをお願いします。
0:06:20	こちら最新の知見や先行する他の審査などを反映し、過去の審査資料から資料構成を再整理しております。
0:06:28	その再整理した内容についてはこちらの下表の通りにまとめております。詳細についてはここでは説明は割愛させていただきます。
0:06:36	続いて11ページ以降に本回答縁部に想定される地震に伴う津波の評価の説明となります。
0:06:43	12ページをお願いします。
0:06:48	こちら日本海等への説明の全体の説明の前に本資料において、主に参照する知見についてここで説明させていただきます。
0:06:58	日本海等縁部に関する研究成果を取りまとめた知見について評価目的ごとに整理を行っております。
0:07:05	その整理結果は下表の通りまとめております。
0:07:08	オカ表のうち、主に参照する知見という列のところ、別のところで、大竹ほか編2000に地震本部2003土木学会2016の三つとして3主に参照する知見としてまとめております。
0:07:24	こちらの整理内容につきましては、13ページに記載しておりますその整理結果については、同表の右側の整理結果にまとめてます。
0:07:34	説明の方はP13の整理フローのほうで説明させていただきます。
0:07:39	こちらスライドの左上のグレーのテキストボックスのところ確認願います。

0:07:45	日本海等縁部における地震発生ポテンシャル評価に関する総合研究というものがありましてこれらの成果を取りまとめたものとして、日本海等への活断層と地震テクトニクスというところで大竹ほか編 2002 でまとめられています。
0:08:01	ここから既往の研究成果を参照し、
0:08:04	被災されたものとして、日本海等縁部の地震活動の長期評価について、所で地震本部 2003 が挙げられます。
0:08:12	また右側のほうに移っていただいて、地震と津波の様々な知見を取りまとめたものとして原子力発電所の津波評価技術、土木学会 2002 が挙げられます。
0:08:24	こちらの 2002 年以降の知見を反映し改定したものとして、原子力発電所の津波評価技術 2016 というものも土木学会 2016 が出版されています。
0:08:35	こちらの表のうち黄色のものについて、
0:08:39	研究成果を取りまとめた知見として、本資料で主に参照するものとして整理しております。
0:08:46	続きまして 14 ページ 15 ページをお願いします。
0:08:51	こちらに本回答縁部に想定される地震に伴う津波の検討フローとなっております、この値 15 ページのほうで説明させていただきます。
0:09:00	こちら全体像をまとめておまして順番に説明させていただきます。
0:09:05	まず 2.1 章では、日本海等Mの特性整理を行います。内容としましては、
0:09:11	どう書く既往の知見に対して文献レビューを行い、また当社の調査結果の比較を行います。これらを参照しまして、日本海等縁部の範囲の想定を行います。
0:09:22	その後 2.2 章の想定波源域の設定では、
0:09:26	東西南北、進路方向、それぞれの設定について順番にまとめており、最終的に三次元的な箱として想定波源域を設定しております。
0:09:36	続いて 2.3 章の基準波源モデルの設定では、各断層パラメーターの設定根拠について説明しております。
0:09:44	続いて 2.4 章パラメータースタディにおいては、前半ではパラメータースタディの検討方針として実施の可否パラメータースタディなフロー。
0:09:54	変動させる幅についてまとめております。
0:09:57	そこから解析における計算条件というところでまとめて、
0:10:02	その後解析結果というところでパラメータースタディの結果を記載してこうやってございますパラメータースタディにつきましては防波堤の損傷を踏まえた 4 地形部パラメータースタディをまとめております。さらに敷地北側防潮での損傷による影響確認も別途まとめております。
0:10:20	そのゴミが移っていただいて 2.5 章で評価用の想定津波の設定 2.6 章でその他の補足説明参考資料といった流れで整理してございます。

0:10:32	続いて、
0:10:33	2.1 オカ 2 本回答Mの特性整理となります。
0:10:38	こちらの 2.1 章については前回のヒアリングで説明済みですので、今回は主な設備変更箇所に絞って説明させていただきます。
0:10:48	ページ番号ですから、20 ページをお願いします。
0:10:55	前回のヒアリングから地殻構造の治験としまして小平 2013 をレビューしましたので、そちらについて説明させていただきます。
0:11:04	小平では地震波速度構造より当行近く遷移近く及び海洋地殻に区分しております。
0:11:11	ひずみ集中体と地殻構造の空間的な分布で比較しますと北部と南部でそれぞれ違いがあるとされております。
0:11:19	このうち北部の治験としまして、主に 21 ページのほうで説明させていただきます。
0:11:26	小平では、北部に分布するひずみ集中対応 3 タイプにさらに区分しております。
0:11:32	三つの矢羽で三つの矢羽根ひずみ集中体について説明しておりますがそのうち二つ目のところ、
0:11:38	二つ目のひずみ集中体では当行近くと遷移地殻との境界付近に位置し、
0:11:43	この金利領域内で日本海中部地震が発生したとされております。
0:11:49	テキストボックスの下段のところの下線部を引いているところですが、ここは結論となりまして、
0:11:54	地震波速度構造と比較すると震源断層と見られる反射面を境に地殻構造が陸側と海側で異なっており震源域より陸側の沿岸域では当行地下部の特徴を示しているといったような結論が得られております。
0:12:10	続いてページ飛びまして 31 ページをお願いします。
0:12:22	こちらの 31 ページでは、文献レビュー当社の調査結果を踏まえて、
0:12:27	想定される日本海等への範囲についてまとめた説明するスライドとなります。
0:12:33	こちら地震本部の評価対象領域については様々な既存研究地震観測記録や歴史地震の記録で津波の記録、震度分布地震性堆積物津波堆積物、過去の地震の震源モデル余震域及びひずみ集中体の
0:12:50	空間的な分布を参照して推定されたものであります。
0:12:54	本当は当社の調査結果から確認した敷地前面の地形的特長と日本海等ヤブに関する既往の知見は整合しております。
0:13:03	これらのことから下の矢印に移っていただいて、
0:13:06	右図に示しております通り、水色のハッチング部分のところに本回答塩分の範囲として、地震本部の評価対象領域と同じ範囲に設定してございます。

0:13:18	続いて 43 ページをお願いします。
0:13:28	こちらは 43 ページは、想定波源位置の東西方向について設定方法をまとめた結論のページとなります。
0:13:39	こちらは様々な既往の知見から想定波源域については東西幅 50kmメーター走向を 3 度 183° と設定し、
0:13:48	その想定波源域の東西方向位置については概ね想定される日本海等への範囲内となるように設定してございます。
0:13:56	じゃあ位置関係を下の図で示しておりまして、水色のハッチング箇所が想定される日本海当面部の範囲
0:14:04	赤枠で囲ったものが想定波源域の範囲となります。
0:14:09	それで 44 ページをお願いします。
0:14:14	こちら想定波源域と当社の調査結果をまた想定される日本海等への範囲の位置関係を整理したものでございます。
0:14:23	想定波源域の付近において、その東側には震源として考慮する断層は認められないということが当社の調査結果からわかるかと思えます。
0:14:32	右上のところに測線の位置図を書いておりまして測線を変えたものとして 45 ページ以降から 49 ページまで。
0:14:42	調査結果を並べております。
0:14:46	手続き説明取りまして 74 ページをお願いします。
0:14:58	こちら 74 ページでは基準波源モデルの設定のうち滑りの不均質性設定の説明ページとなります。
0:15:06	2011 年東北地方太平洋沖地震では滑りの不均質性はあったことから、これらを踏まえて、泊発電所に対して保守的な津波評価となるように滑りの不均質性を考慮したアスペリティモデルを用いております。
0:15:20	このアスペリティモデルとして、日本海等縁部の既往津波の再現モデルとして、アスペリティモデルを構築しているアスペリティモデルについて既往津波の再現性を確認し適用性を確認していると。こちらの 2. から根本ほかに基づき、もっとほかのアスペリティモデルを用いて検討を行っております。
0:15:41	米印で書いておりますが、アスペリティモデルと一様滑りモデルの数値シミュレーションを実施しまして、
0:15:47	アスペリティモデルのほうが泊発電所に対して保守的な津波評価となることを別途確認しております。
0:15:55	続いて 80 ページをお願いします。
0:16:05	だからパラメータスタディに関わる説明となります。
0:16:08	81 ページをお願いします。
0:16:12	パラメータスタディの整理方針につきましては右側にフロー書いております。

0:16:16	パラメータスタディの検討方針につきましては前回のヒアリングで説明した内容でございます。
0:16:23	計算条件、各地系モデルの解析結果については今回のヒアリングから追加したものとなります。
0:16:29	説明の順序としましてはパラメータスタディの検討方針計算条件、各地系モデルの解析結果の順に説明させていただきます。
0:16:39	解析結果については4地形月次パラメータスタディでしておりまして、健全地形モデルを果ての損傷を考慮した地形モデルの①から③の順で資料をまとめております。
0:16:52	82ページ、83ページにつきましては前回の部屋と同様の内容なんかね省略します84ページをお願いします。
0:17:04	右側にパラメータスタディのフローを書いております。このうち左側にテキストボックスのところで、
0:17:10	過去に実施した波源位置のパラメータスタディについては以下の理由から、今回のパラメータスタディでは実施しないこととしております。
0:17:18	現位置の複数枚モデル層厚一律2.5°合同変動につきましては、
0:17:24	過去に検討した逆伝播解析の伝播経路上に波源モデルを配置した場合には、津波水位が大きくなることが想定されるため、
0:17:33	STEP3において黒字の評価を実施しております。
0:17:37	これらのモデルから複数枚モデル層厚一律2点ほど御どう変動の検討と比較してくの字におり曲げたモデルのほうは泊発電所に対して保守的な津波評価になると考えられております。
0:17:49	以上からこれらの検討については実施しないこととしました。
0:17:53	続いて波源位置の南北5kmメーター色の説明となります。
0:17:58	こちらのアスペリティ中央南北方向に移動させた検討をステップ1の1からステップ2の2にかけて実施しておりまして、アスペリティ町と泊発電所に正対する位置に配置することで、泊発電所に伝播する津波が卓越することを確認しております。
0:18:14	以上から、波源位置を南北5kmメーター移動させた場合と比較して、波源位置を移動させないモデルのほうが泊発電所に対して保守的な津波評価になると考えております。
0:18:26	最後に波源位置のうち、東西方向へ置きメーター移動させたものの説明となります。
0:18:32	日本海等Mの特性整理を踏まえて、想定される日本海東部の範囲を設定し、概ねその範囲内となるように想定波源域東西方向の位置を設定しております。

0:18:44	当社の調査結果より想定波源域付近において東側には震源として考慮する断層は認められません。
0:18:51	以上から、想定波源域内に断層配置することを基本として、東西方向位置の検討としてStep1-1、検討を実施していることから、現1の1東西方向5キロメートルへの移動は移動の検討は実施しないこととしました。
0:19:08	続いて85から90にかけては前回ヒアリングで説明しているものですので省略します。
0:19:16	93ページをお願いします。
0:19:23	計13ページ以降から今回のヒアリングで追加した資料となります。
0:19:28	こちら計算手法を記載しておりますがこれまでの審査会合で説明したものと変更しておりませんので説明は省略します。
0:19:36	続いて94ページ95ページに地形モデルを書いております。
0:19:42	このうち95ページの右側の図のところを敷地を拡大したものがございます。
0:19:48	このうち防潮てにつきましては最新のレイアウトに変更したものと津波解析を実施しております。
0:19:55	それで96ページでは当然標高を書いております。
0:20:01	また九十八、九十9については、津波防護施設ほかの位置図、
0:20:06	100ページのところをお願いします。
0:20:11	100ページが地形モデルの説明となりまして、
0:20:14	防波堤につきましては津波影響軽減施設としないことからこれらの損傷を考慮いたします。
0:20:21	どうぞ、パラメータスタディの実施については記載の4知見について実施しております。
0:20:26	続いて101ページでは敷地北側防潮低の損傷による影響軽減、影響確認における地形モデルの説明となります。
0:20:35	敷地北側防潮て内部の建屋及び防潮て乗り越え道路については津波防護施設としないことからこれらの損傷を考慮します。
0:20:45	こちら下側の平面図の左のところを確認していただきたいんですが、
0:20:50	①敷地北側防潮て出しと黒字で書いてあるところがございます。
0:20:56	もうすぐ近くに破線で囲った範囲がありまして、
0:21:00	こちらは敷地北側防潮低となっておりますこちら破線で囲ったところなくしたモデルとして考慮しております。
0:21:08	そのうち②北部なしと③南部なしやそれぞれ青色のハッチングで示した箇所と緑色のハッチングで示した箇所をなくしたモデルを部分的になくしたものでいれとして検討しています。

0:21:21	また黄色のハッチングで示した敷地北側防潮堤内部の建屋と防潮で乗り越え道路につきましては、①から③の共通条件としてなくしたモデルとして設定しております。
0:21:34	で損傷状態としては①から③の敷地北側防潮堤内人北部なし南部なしのそれぞれを考慮しております。
0:21:43	また防波堤の損傷と敷地北側防潮堤というの損傷の組み合わせを考慮しております。
0:21:50	続いて 102 ページの評価地点をお願いいたします。
0:21:56	こちら左下の表で説明させていただきます評価地点につきましては、記載している 8 通りの評価地点を設定しております。
0:22:05	防潮堤前面につきましては評価目的として、地上部から津波が流入する可能性の高い波源を選定するという目的のもと、右側に示す平面図の赤い線が防潮堤になるんですが冒頭程度前の赤い
0:22:20	ハッチング箇所についても調停前面と定義しましてこれを評価地点として設定しております。
0:22:28	また敷地北側AとBそれぞれ設定しております、これらは敷地北側防潮堤の南部と北部はそれぞれ損傷した場合に防潮堤全面に到達する可能性の高い波源を選定するという目的のもと設定しております。
0:22:44	また 3 号炉取水口位置にご出席高校遂行の上昇側につきましては、これらの経路から津波が流入する可能性の高い波源を選定するという目的のもと設定しております。
0:22:57	また、取水口の下降側については、
0:23:00	原子炉補機冷却海水ポンプの取水可能水位を下回る可能性の高い波源を選定する。
0:23:06	目的のもと設定しております。
0:23:10	それで 103 ページに検討手順を記載しております。
0:23:15	こちら下側にフロー図がパラメータスタディのフロー図が四つ書いておりまして、
0:23:20	これについては健全地形モデルと防波堤の損傷を考慮した地形モデル①から③、四つの地形モデルについてそれぞれパラメータスタディをバンする実施するところを表しております。
0:23:34	農地パラメータスタディのステップ 4 の下のところに破線で敷地北側防潮堤の三者による影響確認と書いておりまして、ステップ 4 の最大ケースのうち影響の大きいものを対象として、
0:23:48	敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施しております。

0:23:52	これらの結果を踏まえて、健全地形モデルにおける評価用の想定津波損傷地形モデルにおける評価用の想定津波をそれぞれ設定しております。
0:24:04	続いて 104 ページ以降解析結果の説明となります。
0:24:08	まず健全地形モデルを例として説明させていただきます。
0:24:13	105 ページをお願いします。
0:24:16	パラメータスタディのステップ 1 の 1 においては、東西方向位置、傾斜角及び傾斜方向として左下に示している土木学会の断層パターンの 8 通り
0:24:27	またアスペリティ位置として隣接するものの 7 通りの組み合わせのパラメータスタディを実施しております。
0:24:36	こちらの解析結果については 106 ページ 107 ページを見開きで説明させていただきます。
0:24:43	ちゃ性状羅列している表がございますが、こちらの列についてが、
0:24:48	評価地点ごとの津波水位を書いております。
0:24:52	また行については、パラメータスタディの波源の条件の変動条件を記載しております。
0:24:58	これらのうちハッチングで、
0:25:01	示しているものが各評価地点における最大水位最大の水位を表しております。
0:25:07	このハッチングで示したものについてまとめたものが 108 ページとなります。
0:25:15	これらは各評価地点における最大ケースの波源モデルを評価地点ごとに示したものとなります。
0:25:22	このうち、
0:25:24	どっち評価地点は違うものを同じ波源になるものについては文章として丸々最大ケースと同じというような表現しております。
0:25:36	続いて 109 ページではステップ 1 の 2 の説明となります。
0:25:41	添付 1-2 ではアスペリティが隣接したモデルについて 10kmメーターピッチで南北移動させた検討を実施しております。
0:25:48	計算結果 110 111 ページ、112 ページの 3 ページにわたって記載されておまして、
0:25:55	最大ケースもあるものが 113 ページに掲載しております。
0:26:01	最大ケースとしましては左側左側から順に防潮て前面の最大ケースについてはアスペリティ位置がdeから南へ 20km、断層パターン 6 のものが最大となります。
0:26:13	歩数以降については、アスペリティ位置でいいから気体 10km、断層パターン 6 のものが最大となります。

0:26:20	下降側の3号取水口最大下降側最大ケースと12号取水口の下降側最大ケースについては、アスペリティ位置dの断層パターンなものが最大となります。
0:26:33	続いて115ページをお願いします。
0:26:39	ステップ2の1においてはアスペリティを2ヶ所に配置したケースを検討しております。
0:26:45	こちら検討結果と、選定される波源は、116ページから119ページにかけて同様の流れで整理しております。
0:26:55	121ページをお願いします。
0:26:59	ステップ2の2の検討ではアスペリティを2分割したものであったほうのアスペリティ位置を南北10kmメートルピッチ移動させた検討を実施しております。
0:27:09	すみません、検討結果についてもちょっと省略させていただきます。
0:27:14	続いて127ページをお願いします。
0:27:21	こちらStep3の波源位置くの字の評価についてです。
0:27:26	こちらStep1-2棟ステップ2の2の最大ケースの波源モデルを対象に層厚多くの時に±10°変動させたパラメータスタディを実施しております。
0:27:36	米印で書いてありますが、パラメータスタディの結果より性変動量が大きいStep1-2、最大ケースが選定されております。
0:27:45	検討結果は次のページに記載の通りです。
0:27:49	133ページがSTEP4の検討内容となります。
0:27:55	断層面上縁深さについては0kmメートルから5kmメートルあまり1kmメートル刻みで検討しております。
0:28:02	その検討結果が、
0:28:04	137ページ。
0:28:07	2ステップ4を終えた時点での最大ケースがまとめられております。
0:28:12	このうち防潮て前面の最大ケースと敷地北側AとBの最大ケースの3ケースについては、敷地北側防潮ていうのを損傷させた場合に影響が大きいと考えられることから、この3ケースを対象に敷地北側防潮低の損傷の影響確認を実施します。
0:28:31	139ページが、
0:28:34	敷地北側も調停の損傷による影響確認をスライドとなりますが、対象ケースについては先ほど説明したステップ4のこちらの3ケースを対象としております。
0:28:46	地形モデルとしては①から③の敷地北側防潮堤内人北部なし南部なしの3知見について検討しております。
0:28:57	140ページをお願いします。

0:29:02	じゃあ地形モデルとして敷地北側防潮ていうの損傷状態①の検討結果を整理したものとなります。
0:29:10	こちら表の一番左側に三つ波源が並んでおりまして、三つの波源に対して敷地北側も調停の損傷状態として健全と損傷状態①の結果を比較しております。
0:29:23	右側に各評価地点における水位変動量を書いておりまして、これらの健全と損傷状態①の性状を比較すると性変動量に有意な差はないということが確認できます。
0:29:37	続いて 141 ページをお願いします。
0:29:42	こちらは健全地形と損傷状態もある位置における水位分布図の比較を行っております。
0:29:49	その分布図を比較しますと、大きな差はないということがわかりますので、最大水位分布図に有意な差はないというように記載しております。
0:29:59	142 ページをお願いします。
0:30:04	こちらは健全地形等、損傷状態①の時刻歴派遣を比較したものとなります。
0:30:09	県については 3 号取水口 12 号取水口放水項 3 地点について比較しております。
0:30:16	こちら黒字がとく路線が健全赤線が損傷状態①を記載しているんですが、ほぼ同じ葉系であるというところから、
0:30:27	一応へと一つのハケに見えておりますがこれ重なっておりますので、
0:30:33	このような見方となっております。そのため、時刻歴派遣に有意な差はないというところを数にしております。
0:30:40	続いて 144 ページ以降、
0:30:43	こちら損傷状態②と健全地形の比較となっておりますので、先ほど説明した内容と同様に整理しておりますので説明は省略します。
0:30:53	ページは少し飛びまして、
0:30:59	151 ページをお願いします。
0:31:05	こちら敷地北側防潮低の損傷による影響確認のまとめのページとなります。
0:31:10	そのような損傷の考慮によって最大水位変動量、最大水位分布図、時刻歴派遣に対して有意な影響がないことを確認しました。以上から評価用の想定津波の選定にあたってはいいかは検討対象としないこととしました。
0:31:26	敷地北側防潮ていうの損傷状態と、あと評価地点のうち敷地北側ABにつきましては、
0:31:34	こちら敷地北側が損傷した場合に影響の大きい波源を選定することを目的としているというところからこれらの水位変動量の最大ケースは、検討対象としておりません。

0:31:46	どこまでか健全地形モデルの整理結果となりまして、以降、同様の流れで防波堤の損傷を考慮した地形モデル①から③について整理しております。
0:31:58	ページ大きく飛びまして 297 ページをお願いします。
0:32:11	297 ページ 2.5 章に移りまして評価用の想定津波の設定の説明となります。
0:32:20	下の表に評価用の想定健全地形モデルにおける評価用の想定津波をまとめておりまして、防潮て前面については 9.86 メーターの水位変動量を地形モデルは健全地形モデルアスペリティちゃんとやっど波源の状況、
0:32:35	概要としましてアスペリティ位置がd南へ 20。
0:32:38	といったような流れで整理しております。こちら 6 評価地点についてそれぞれ最大ケースをまとめたものとなります。
0:32:47	続いて比 298299 は、
0:32:52	評価用の想定津波における水位分布図とはけを示したものとなります。
0:32:58	続いて 301 ページをお願いします。
0:33:02	先ほどまでが健全地形モデルの設定でしたが、ここからは、損傷地形モデルにおける評価用の想定津波の設定となります。
0:33:12	こちら区分と計算値のほかに地形モデルとして、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①から③、
0:33:20	どれに分類するかというものを書いております。また断層モデルのパラメータについてもそれぞれ書いております。
0:33:29	こちらに記載している結果が損傷地形モデルにおける評価への想定津波となります。
0:33:36	続いて 302 ページ 303 ページはそれらの生物となります。
0:33:43	続いて 304 ページ以降補足説明となります。
0:33:48	305 ページをお願いします。
0:33:51	パラメータスタディの評価因子の影響分析の検討方針となります。
0:33:56	土木学会ではパラメータスタディについてより支配的と考えられる因子に関するパラメータスタディを行った後、その中で最も影響を与えた波源モデルを用いてその他の従属的因子に関するパラメータスタディを行うことを基本とするとされております。
0:34:14	矢印の下側に移っていただいて、
0:34:17	検討方針としまして、概略パラメータスタディな評価いい評価因子及び詳細パラメータスタディの表会社のそれぞれが津波水位に与える影響について分析しました。
0:34:28	あと分析については概略パラメータスタディが支配的因子、詳細パラメータスタディが従属的因子で行われていると確認します。地形モデルについては記載の 4 地形モデルについて確認しております。

0:34:42	また評価因子の影響分析とは別に津波伝播への影響というところで、
0:34:47	津波水位に最も影響を与える因子の変動に対する津波伝播への影響についても比較検討を実施しております。
0:34:56	306 ページと 307 ページ見開きで結果を記載しております。
0:35:03	こちら一番下側にグラフを記載しておりますこちらグラフは評価地点ごとにおけるパラメータスタディによる水位の変動を表したグラフとなっております。
0:35:14	このうち、最小値と最大値の幅というものを水位の変動量として各評価地点ごとに整理しております。
0:35:23	同様に、こちら各ステップごとにまとめておまして、
0:35:28	その結果をまとめたものが 362 ページ、363 ページをお願いします。
0:35:40	362 と 363 の見開きで結果をまとめておまして大きく四つ表がありますが、
0:35:48	それぞれの地形モデルにおける水位変動の水位の変動幅をまとめた表となっております。
0:35:56	じゃあ、概略パラメータスタディの評価にしてあるアスペリティ 1 注書きで書いているものが、水位の変動幅が最も大きく津波水位に与える影響が最も大きいと考えております。
0:36:08	また、詳細パラメータスタディの評価にしてあります波源位置断層面上縁深さについては、概略パラメータスタディの評価にして比べて水位の変動幅が小さく津波性に与える影響は小さいと考えております。
0:36:23	委員長から概略パラメータスタディは津波水位に対して支配的因子で行われていることを詳細パラメータスタディは従属的に市で行われていることを確認いたしました。
0:36:37	続いて 365 ページをお願いします。
0:36:43	津波伝播への影響をこのページから説明しておりますが、これらについては、これまでの会合で示した内容と同様の内容ですので説明は省略します。
0:36:55	ページ番号が 370 ページをお願いします。
0:37:03	こちら、貯留堰を下回る時間の確認というところで、検討方針を示したページとなります。
0:37:10	と検討方針につきましては、水位下降側の評価においては、津波防護施設として貯留できるよう設置しているというところから処理できを下回る時間についても確認しました。
0:37:22	確認を対象したケースとしまして、
0:37:25	最大水位上昇量下降量に着目したパラメータスタディの実施ケースすべてを対象として書類堰を下回る時間を確認しました。
0:37:36	確認の実施にあたっては、地形モデルの記載の 4 地形モデルについて確認しております。

0:37:41	矢印の下側に移っていただいて、上記の確認を踏まえ、貯留堰を下回る時間に着目したパラメータスタディの必要性について検討しております。
0:37:52	371 ページをお願いします。
0:37:56	これは下回る時間の算出方法となっております。
0:38:01	一つ目の矢羽のところで朝礼税金を下回る時間については、
0:38:06	取引を下回るハケのうち下回る時間が最長となる人ハケの時間として整理しております。
0:38:13	こちら 1 例としまして、左のほうに図は形状を記載しております。
0:38:19	青線で示すところが貯留堰の天端高さとなっております、これは、
0:38:24	これを下回るものとして①-194 秒と 02-179 秒の葉系が挙げられます。
0:38:31	時最長のものとして①のほうのはけとして 194 秒。
0:38:36	を下回る時間として設定しております。
0:38:40	また保守性を考慮した時間については、短周域の水位上昇を無視した複製派遣の時間として整理しております。
0:38:48	こちら右側に例を記載しております、
0:38:51	等①と②のハ系の真ん中のところに短周期の性状ショート困っている。
0:38:58	水位上昇が見られます。これを無視した葉系として 555 秒というような形で整理しております。
0:39:07	次のページの 372 ページをお願いします。
0:39:12	では時刻歴は系の抽出地点の説明となります。
0:39:17	時間の算出に用いる時刻歴派遣については、3 号炉処理できない前面と一、二号炉貯留できる前面の代表地点から抽出しております。
0:39:26	その位置関係を下の図に示しております。
0:39:30	続いて結果のページで 374 ページをお願いします。
0:39:38	こちらでは 3 号取水口の評価結果となっております、
0:39:42	等 3 号取水口の水位変動量の最大ケース。
0:39:46	と貯留堰を下回る時間の最大ケース。
0:39:50	最後に保守性を考慮した時間最大係数は三つの最大ケースについて整理しております。
0:39:57	これを算出するに当たって設置し名称実施した結果一覧についてはどう、どちらとは別の補足説明資料というところで、バックデータとして解析結果を記載しております。
0:40:10	どこで貯留堰を下回る時間及び保守性を考慮した時間については、取引の容量と比較して十分に小さいことが確認結果からわかるかと思えます。
0:40:20	具体的には、貯留堰を下回る時間は 471 秒保守性を考慮した時間は 704 秒。

0:40:28	それに対して取水可能時間については 7680 秒というところになります。
0:40:34	以上から条件の取水可能時間に今後評価する姿勢炉内の砂の堆積を考慮したとしても十分な裕度を確保できる見込みとなります。
0:40:44	375 ページについては、正分布図と時刻歴派遣についてそれぞれ記載したものととなります。
0:40:52	376 ページが 12 号炉の評価結果となります。
0:40:57	結論を言いますと貯留堰を下回る時間が 579 秒保守性を考慮した時間が 810 秒、それに対して取水可能時間が 2220 秒というところで、こちらについても十分な裕度を確保できる見込みとなります。
0:41:13	377 ページが分布図と時刻歴派遣となります。
0:41:18	378 ページがまとめとなりまして、
0:41:23	当矢印の下のところを確認をお願いしますと利益を下回る時間に着目したパラメータスタディを実施した場合においても十分な助成容量を確保できる見込みであることから、最大水位下降量に着目したパラメータスタディを実施することで、
0:41:38	原子炉補機冷却海水ポンプの取水性に最も影響のある波源を選定できると考えております。
0:41:46	ここまでが下回る時間の説明となります。
0:41:49	続いて 380 ページをお願いします。
0:41:55	断層パターン 5 東端の検討の説明となります。
0:41:59	断層パターン 1 から 8 と断層パターン 5 東端の数値シミュレーションを実施した断層パターン 1 から 8 のほうが泊発電所に対して保守的な津波評価となることを確認しております。
0:42:12	米印で書いてありますが断層パターン 5 の東端というものは、
0:42:16	断層ば単語の断層下端をすると下の図で示しております青破線で示させて想定波源域の東端位置まで移動させたケースというところで、
0:42:27	定義しております。
0:42:29	結果については 381 ページ以降で説明していきます。
0:42:34	381 ページをお願いします。
0:42:38	こちら断層パターン 1 から 8 と気が気で書いている断層パターン 5 の東端はシミュレーション結果を書いたものととなります。
0:42:47	これらのうちハッチングをしたケースが最大ケースとなりますが、断層パターン 5 の東端については最大ケースとならないということが確認できております。
0:42:57	200382 棟 383 については分岐図をそれぞれ記載したものととなります。
0:43:04	これら地形モデルについて同様にまとめておりまして結論のページは、
0:43:12	396 ページとなります。

0:43:16	結論では、
0:43:18	断層パターン 1 から 8 と断層パターン 5 東端の設置シミュレーションを実施した結果一覧 3 パターン 5 東端は最大ケースとなりませんでした。
0:43:27	以上から断層パターンごと東端と比較して段差パターン 1 から 8 のほうが泊発電所に対して保守的な津波評価となることを確認しました。
0:43:37	続いて、
0:43:39	399 ページをお願いいたします。
0:43:46	こちらはアスペリティモデルの保守性確認の検討方針となります。
0:43:52	アスペリティモデルと一様滑りモデルの設置シミュレーションを実施しまして、アスペリティモデルのほうが泊発電所に対して保守的な津波評価となることを確認することも検討方針としております。
0:44:05	こちら地形モデルについては 4 地形モデルについて確認しております。
0:44:09	結果については、400 ページ 401 ページで整理しております。
0:44:15	こちら見開きで検討結果を書いております、このうち 401 ページの下側のところに一様滑りモデルの結果が記載されております。
0:44:25	こちら断層パターン 5 の東端と同じように最大ケースをハッチングで示しております、
0:44:31	アスペリティモデルのほうが最大ケースとなっていることが確認できております。
0:44:37	日本 102 ページ以降は水位分布図パート別の地形モデルの結果を記載しております。
0:44:43	まとめのページが 416 ページとなります。
0:44:50	こちらは一様滑りモデルと比較してアスペリティモデルのほうが泊発電所に対して保守的な津波評価となることを確認したということがまとめとなります。
0:45:00	残り参考文献と参考資料となります。
0:45:04	参考資料につきましては、容器と炭ホッパーの文献レビューについての記載をしております、こちらについては前回部屋で内容説明済みのため説明は省略させていただきます。
0:45:18	私の方からの説明は以上となります。
0:45:28	規制庁タニです。説明ありがとうございました。
0:45:32	確認に入らせていただきます。
0:45:37	まず全体的な話としては、今回の資料っていうのが、前回もヒアリング後にですね、他のサイトの審査とこもあって、そういったことを踏まえて、波源モデルの設定等についてちょっと説明を加えたりしていると。
0:45:52	交通等縁部について評価結果が一式示されていて、

0:46:00	この今回の資料で縁部の日本海等Mの地震単独の津波としてはもう一式の評価結果が全部出来てる出ているということで考えてよいですか。
0:46:17	北海道電力アオキですと、当面部の評価結果については今回の資料ですべてまとまっているという認識で間違いありません。
0:46:26	やはり確認できましてありがとうございます。
0:46:29	それで、ちょっと評価結果のほう確認していきたいんですけども、
0:46:35	まずですね、今回、102 ページですね。
0:46:41	計算条件ということで何か評価点をここで説明してて、
0:46:48	今までこの敷地北側の敷地北側Bっていうのがなかったところが追加されているわけなんですけど、評価目的を読んでみたら、
0:47:00	評価目的というのが表には一応書かれているんですけど。
0:47:03	この評価地点って具体的にこう何を
0:47:09	説明あったのかもしれない、ないんですけどよくわかってなくて、ここからもう敷地に対して大きな
0:47:17	影響の大きい津波を基準津波の考慮にするようなものとして入れているのか。
0:47:24	目的として書いている。
0:47:28	防潮堤内鞍部が北側防潮低の南部が損傷した場合に、防潮で全面に到達する可能性の高い派遣を選定するっていうことが、これが後段にですねどういふふう
0:47:43	評価に繋がっていくのかっていうのがちょっとわかりにくかったんですけど、このなぜこの評価地点が必要なのかっていうのもう一度教えてもらっていいですか。
0:47:57	北海道電力アオキで説明させていただきます。
0:48:02	まず敷地北側防潮で変わることによって、市街面の左側から到達する津波がこれば敷地北側防潮手があることによっても調停まで到達しないというところが考えられます。
0:48:18	一方、この敷地北側も調停が壊れた場合には、障害するものがございませんので、この左側から来た津波がもうちょっと丁寧に直接当たると、そういった作業を想定して、左側から来る大きい波源がどのようなものか。
0:48:33	という観点で敷地北側AとBをそれぞれ設定しております。
0:48:39	最終的な評価としましては、敷地北側壊れた場合に影響のある大きい波源を選定するという目的を踏まえると、最終的な今後の基準津波の評価としてはこの敷地北側AとBはそれぞれ対象としては結構考えなくていいというようなふう

0:48:58	あくまで基準津波の評価としては、防潮て前面と3号取水口を遂行、それぞれの評価結果、
0:49:06	選ばれた波源が選定
0:49:09	評価対象になると考えております。以上です。
0:49:17	規制庁タニです。
0:49:22	僕は何でなんで、北側から影響が大きい波源っていうのを、
0:49:29	ここで見なければいけないのかっていうのがちょっとわからなかったんですけど。
0:49:34	ちょっとこの位置付けっていうのをですね資料上わかるようにですねしていただけたらと思います。結局だから、
0:49:45	敷地に対して影響の大きい津波を選ぶときには用いていない用いないっていうことが、これ最初からそういうつもりだけどこには評価地点に入ってるんですかね。
0:49:57	そうじゃなくて検討した結果、
0:49:59	ここを考慮しないでいいんだっていう話なんですね、ちょっとその辺の因果関係がわからなくて、
0:50:12	北海道電力の奥寺でございます。
0:50:15	式地北側AとかBの地形の多くに調停の
0:50:22	図で言うところの左端があるんですけどもそこが囲まれちゃってるということで、こちらのほうを2本、
0:50:30	方向性を考えたときに影響の大きいものはあるんあるのかなのかという観点で方向性を考慮すると、AとかBとか、この辺りの波源の影響を見たっていうのが大きい説明です。
0:50:45	で結果的に、先ほど大谷さんおっしゃった後者のほうになるんですけども、結果的には考慮する必要がないという結果であったということになりますので、その辺の位置付けとか内容がもう少しわかりやすくなるように、
0:51:01	資料を修正整理したいと思います。
0:51:06	規制庁刀禰です。お願いします。
0:51:09	あとですね、この評価地点っていうのが、何ていうんですかね、さっき北側AとかBとか特にそうなんですけど、これ点の話をしているのか。
0:51:18	どっかの子線上に評価して、そこの高いところを選んでるのか或いは面的な話平面的な話をしているのかっていうのがいまいわからなくて、
0:51:29	これまず防潮て全面っていうのは、これを頂点をあれですよ、一番上の赤の防潮て前面っていうのはこれ1000ラインとして評価してて一番高いところ選ばれているっていうことなんですかね、えっと次の北側Aは、

0:51:46	なんか地点なのとかちょっとその辺もですね、簡単に説明してもらっていいですか。
0:51:54	北海道電力アオキです。102 ページで説明させていただきます。
0:51:58	右側に平面図がありまして、それぞれ赤色、黄色、オレンジ色等色分けをしています。
0:52:05	この色分けした範囲と面という説明になるんでしょうか。この面の中の最大値となるものを
0:52:11	評価地点としてそれぞれ選定しております。言葉として防潮で前面と記載しておりますが、
0:52:19	赤いハッチングで示した面の範囲での最大値を防潮で全面として定義しております。
0:52:28	はい、わかりました。その辺ちょっとわかるようにしていって、だからあれですよねこの取水口のところも、この色塗ってる範囲で一番高い面的に見て一番高いところの水位を言ってるってことでいいんですよね。
0:52:44	その認識で間違いありません。はい、わかりました確認できました。ちょっとその辺がわかるようにですね、していただけたらと思います。
0:52:58	あと続いてですけど。
0:53:01	これ結局
0:53:03	検討結果ということですね。
0:53:06	当然部で最も影響が大きいというのを見ている波源っていうのはですね。
0:53:14	この検討結果どこになるのかっていうのをちょっと確認したくて、これは具体的に 197 ページに、健全地形モデルにおける評価用の想定津波。
0:53:28	つまりこれがチャンピオンケースなんだっていう整理でいいですかねそして 301 ページが損傷地形における
0:53:37	評価用の想定津波これが
0:53:42	損傷地形のチャンピオンケースを並べてるっていうことでいいんですか。
0:53:50	アオキです。その通りの認識で間違いございません。
0:53:56	はい、確認できました。
0:53:59	これどうこの評価用の想定津波っていうのはこれ、何かこの言葉って、
0:54:05	どこから来てるんですけどっていうちょっと確認させてください。
0:54:15	すみません、過去の会合において、地震に伴う津波のうち重畳の検討に用いる津波というものを評価用の想定津波として定義したという過去の説明がありましたのでそれに倣って評価用の想定津波。
0:54:30	として記載しております。
0:54:34	はい。

0:54:35	はい、あの状況わかりましたこれまでの資料とあわせてこういう言葉を使ってるってことですね。
0:54:41	あとそれで 301 ページに、これが損傷知見モデルによる評価用の想定津波ということで、エロここ書いてるんですけど。
0:54:53	これ見るとですね。
0:54:56	損傷知見モデルっていうのは、①から③までやりましたよというモデル 1 から③、
0:55:03	結局も影響が大きいものとしては、
0:55:08	123 っていうのをそれぞれから選んでるわけじゃなくて、
0:55:14	損傷モデルの中で、
0:55:17	防潮で全面で一番大きなものがこれになりますとかそういう選び方をされてるってことなんですかね 301 ページは、
0:55:27	選び方の考えとしましては、損傷地形として①から③、それぞれ最大の政治を出しておりますパラスタの結果最大となる数字を出してまして、その①から 3-1 政治が最大となるものを比 301 ページの通りにまとめております。
0:55:45	ちょっと例を挙げていますと防潮で全面で言うと②のものが政治として一番大きくなったのでこの表に記載してございます。
0:55:56	何となくやってることを怒ったんですけど。
0:56:00	これ多分その検討結果からここまでするその考えたとかですね、さっき言ったような並べてみたときにどれがちゃんペンなるのかとかいうのは抜けているのと、
0:56:12	抜けているのでぜひその考えはちゃんと資料化していただきたいんですけど。
0:56:18	その考えてあれですかね、例えば、
0:56:23	例えば、防潮で全面の話をする。
0:56:28	損傷を考慮したモデル 2 の時のチャンピオンがここで選ばれてるんですけども、
0:56:34	実際置ける時に地形モデル①みたいなことが、
0:56:39	起きるかもしれないですよ。そういう時のチャンピオンは別に、
0:56:44	あるあるけど、
0:56:47	それはLava出ていないってことでいいんですよ。
0:56:53	質問の堰としては、損傷の地形モデル①で選ばれる波源とまれに例選ばれるはげ間違う場合に、
0:57:03	どう、どうなるかとかそういった話だと思うんですけど、ここでは、あくまで数字上最大になる地形モデルと断層パラメータそれぞれを記載したものとなっています。

0:57:16	規制庁タニです。はい。状況はなんとなくわかりましたんでそれがいいか悪いかかっていうのは、海盆どっかでの話になると思うので、まずはちょっと考え方がわかるようにですね。
0:57:29	していただきたいなと思いますのでよろしくお願いします。
0:57:38	あとですね、
0:57:42	132 ページですか。
0:57:55	132 条です。
0:57:58	すみません簿
0:58:00	防潮ていうのありなしのページっていうところでしたっけ。
0:58:07	140 ページですか。
0:58:09	健全モデルの 139 ページ以降、
0:58:12	ですかね。
0:58:14	ここでちょっと確認したいんですけど。
0:58:16	これ、
0:58:18	補足に乗ってて、
0:58:21	北側の防潮低の損傷、
0:58:25	というの検討されているんですけど、結論としては、
0:58:31	北側防潮等の損傷状況、状態による水位変動に有意な差はないことが確認されたということなんですけど、この有意な差がないから。
0:58:43	結論としては、
0:58:46	えっと損傷しないケースで検討したのでいいと。
0:58:52	いう結論になるってことですかね。
0:59:02	結論のページが 151 ページにまとめておまして、
0:59:08	ちょっと言葉足らずかもしれませんが、矢印の下側のところが結論としております。
0:59:13	有意な差はないというところから、敷地北側も調停の損傷状態については見ない状態というものとして評価への想定津波を設定するというのが一つの結論でまた評価地点のうち敷地北側AとBのそれぞれの
0:59:30	水位変動量最大ケースとして抽出したケースについては評価の想定津波の設定として設定しないということが当社の結論であると考えております。
0:59:44	はい。
0:59:47	ここの 151 ページ私ちゃんと確認できてなかったのかな。はい。結局はその防波防潮では、損傷しない状況で検討するっていうことですね。
1:00:00	これなんで補足なのかなっていうのはちょっとそれ感じてて、
1:00:05	この例えばここに書いている評価地点のうち敷地北側ABは水位変動量最大ケースっていうのは、

1:00:14	評価検討対象にしないってここに書いてるわけなんですけど。
1:00:19	これって補足で書くようなことじゃないんじゃないのかなと前段からの繋がりを 見るとですね、思っはいるんですけど、ちょっとその辺はですね。
1:00:29	考えていただけたらと思います。
1:00:31	あとですね。
1:00:36	ここの 140 ページのこの水位の表とかでちょっと確認したことがあって、ちよっ とかわります。
1:00:51	規制庁のスガヤなんですけれども、ちょっと資料の見方を確認教えていただき たいんですけど。
1:01:00	本編の 142 ページをちょっと開いていただきたいんですけど、
1:01:08	ここには時刻歴は径が載せてあって、
1:01:14	142 ページの前にページとずっとこう関連しているページなんですけれども、
1:01:20	この時刻歴は例えば
1:01:25	一番上の上段ステップ 4 の赤いハッチが三つ。
1:01:30	ありますけれども最上段のほうで、1 号炉、
1:01:34	2 号炉取水口の派遣を見ていただくと、黒と赤の葉系がほぼ重なっているん で、1 本の線に見えるんですけど、
1:01:43	最大と最小のピークのところに数値の値が載っています。
1:01:47	この数値の値って、140 ページの
1:01:50	この数値の値と必ずどっか対応するんじゃないかなと思って自分なりに見てみ たんですけど、
1:01:59	対応しなかったんですけど、
1:02:01	これはすみません、ちょっと見方を教えていただきたいんですけど。
1:02:07	北海道電力アオキですと 140 ページの最大水位上昇量につきましては、当評 価地点として面として先ほど設定していると説明したんですがその面のうち最 大地点となるものを記載しております。
1:02:23	一方、ちょっと資料には書いてなかったんですが 142 ページの時刻歴派遣に ついては、
1:02:30	当県前地形と損傷状態で、それぞれ同じ評価地点だとしても面で拾ってます のでわずかに抽出している地点が異なるとの派遣の比較にならないのではな らないというところで、
1:02:44	どう代表地点として、この 142 ページの派遣は抽出しております。その違いに よって最大値と最小値での前半の 140 と 142 ページで数字の差が発生してい るものと考えています。
1:03:02	規制庁スガヤです。

1:03:04	わかりました。そうするとまあ合っていないものと、まあ合っているものもあるんですけれども、やはりそこはちょっと丁寧に書いておいていただきたいと思います。あとちなみに代表地点とかって今おっしゃってましたけどそれがわかる図ってというのはどっかにあるんですか。
1:03:20	今回の処理で図面として用意してないので、ちょっと
1:03:24	資料として足らなかったところとなりますね。一方取水口については、
1:03:30	ちょっと別の観点で整理したもので、下降側の評価で 300。
1:03:35	70
1:03:37	2 ページをお願いします。
1:03:42	取水口については下回り時間の確認で決めた処理でき前面の地点と同じ地点で派遣を記載しております。
1:03:55	はい。規制庁スガヤです。
1:03:57	そうすると、140 ページとかその 141 とか 140 日程案を 3 枚で人セットみたいなもんだと思うんですけれども、今おっしゃったその要は説明が抜けてたっていうところの
1:04:11	ところはちょっと明記していただいて、こういう図の表と図のパターンがずっとこの後続いていきますよね。全部見てみてもやっぱり
1:04:21	そうなっているので、そこはちゃんと書いていただきたいと。
1:04:25	お願いします。
1:04:28	拝承しました。
1:04:41	規制庁タニですけど、あと保険の話で思い出したんですけど。
1:04:45	さっきの評価用の想定津波ってそういうご議論出る四つは、
1:04:51	これははっきり言って、
1:04:53	あるのこれ、
1:04:57	302 ページ以降全部あるんですね。
1:05:05	評価用の想定津波については、それぞれの地点の発見を記載してございます。はい、確認できました。
1:05:35	規制庁タニです。
1:05:38	えっとですね。続いてちょっとまず
1:05:43	これ今回新しくなると所先ほど確認していったんですけど、そんな想定波源域の設定等についてですね、ちょっと確認をしていきたいんですけど。
1:05:58	えっとですねこれ他のサイトウもの審査はもう未定で今回こういう立場になるってということなんですけど。
1:06:08	ちょっとですね。
1:06:10	説明が足りてるのかなって思うようなところが散見されて、例えばですね、56 ページ、よろしいですか。

1:06:24	何南北方向の
1:06:28	根拠ってということで骨格書かれてるんですけど、これ資料見ていってですね。何で 313km、
1:06:39	にしているのか、例えば地震空白域、これ北海道南西沖と北海道製法機の間 に地震空白域があるんだと言われていたところがあるんですけど、こういった ものをどう評価しているのか。
1:06:57	そういったところと、
1:07:00	あと南北方向とこれも結論をぽつと書かれてるんですけど、これって、
1:07:08	北端、南端が書かれてるんですけど。
1:07:11	これだけじゃなくって、何ていうんですけどね。
1:07:15	余震分布だとかそういったこととかをどういうふうに
1:07:21	南北方向の範囲の設定で考えているのかっていうのが、
1:07:26	この 56 ページだけ見てもわからないですよ。その辺ちょっと。
1:07:32	資料としてはきちんと
1:07:35	評価していただきたいんですけど、どうでしょうか。
1:07:45	北海道電力のムロタです。打撲方向の評価につきましては、資料の 34 ページ から
1:07:53	何に失明記載してまして、まず 34 ページなんですけどこれは敷地前面海域の
1:08:02	活構造の評価ということで、FB2 断層であったり不備 3 断層がございます。
1:08:09	35 ページについては日野であったり岡村の文献をレビューしたりですね。
1:08:17	開放の 2001 であったりを見ましてなぜ沖の地震については、北側後志改ざん を超えないと。
1:08:26	南側へまとまりカイダ超えない。
1:08:29	ということを確認していると思うて 36 ページにつきましては粘性沖直前、
1:08:37	の 93 年 6 月から十年間の
1:08:40	震源分布を見てます。それが下の左側ですね。て右側の図が 2003 年以降の
1:08:48	傾向も見て大局的には震源の分布は、
1:08:53	昨日の知見と同じく変わらないと。
1:08:56	ということで 37 ページに
1:09:00	想定波源域の主部ということで 320km に設定している断層の支部は、
1:09:06	地震本部 2003 における北海道那須沖の評価対象領域の同様な範囲としたと いうことになっております。38 ページからが、南端の評価ということで、断層の手 話南西大きいのでさらに南側を確認したところを
1:09:25	弾性沖のモデルがタニオカであったり組合青柳のモデルがありましてその中 で一番南側にある青柳を
1:09:33	親が一番南側にございますので、南端は青柳の位置にしている。

1:09:39	39 ページが
1:09:42	北端の設定でございまして、基盤構造から見ますと、
1:09:48	左側はちょっと説明は、左の枠の中に書いてますけど右の図で言う赤い星まで考えられると。
1:09:56	しかし赤い星の1が地震本部で言うこの北海道正方形の
1:10:03	範囲まで入っているということをかんがみて保守的に地震本部 2003 の正方形の方、
1:10:12	評価対象領域の北端まで考慮したと。
1:10:15	というのが
1:10:19	断層の波源の南端と北端の設定の説明になります。
1:10:24	ここから次の
1:10:27	先ほどタニさんからの御指摘があった 56 ページまでのちょっと繋がりが悪いので、そこわかるように修正したいと思いますがいかがでしょうか。
1:10:36	規制庁タニです。はい、まあまあそういうことで沼津ワークっていうのをどう決めてるのか、ワークというか発行というような言葉も名前の会合で何かあったと思うんですけど、そう。そこ底が南北も
1:10:52	基準を基本になって、最後の南北じゃどここの店にするかっていうのがここに書かれているようなことなのかなっていうふうには、
1:11:00	資料として思うんですけど、その辺のなんていうんですかね、何が参考になって、南南が決まってるのかっていうのをしっかりとですねわかるようにしていただきたいと。
1:11:14	ということでお願いします。
1:11:23	資料の記載方法につきましてちょっと検討させていただきます。
1:11:35	規制庁マイク等ですけどもね。そうそう思う。縁部の設定ってなんだけど。
1:11:43	今年そう。
1:11:47	どうやって設定してるの。結局、
1:11:50	なんかいろいろ知見掘り申しと言っていて、その知見で何よりっていうのがあんまりはっきりしない中で、要は我々としては、それぞれの設定をこうふうにしました。
1:12:02	て、
1:12:04	なっちゃってんだけど、文献レビューの結果としての範囲ってどこにあると思います。
1:12:26	北海道電力オクデラでございます。
1:12:29	文献レビューのまとめというものが、
1:12:34	26 ページにあります。

1:12:38	こころ一つ一つは読み上げませんが、こういったものが書かれているという ことで、
1:12:46	次以降ですけれども、
1:12:51	131 ページですけれども、
1:12:54	まず、
1:12:55	日本回答縁部という範囲っていうのは、
1:12:59	我々として対象とするところはどこなんだっていうところを大きくりに 31 ページ で、
1:13:07	地震本部の評価対象領域、
1:13:10	を考えるのがよいのではないかということ
1:13:15	我々として考えたということでございます。
1:13:19	て、そのあとの、先ほど細かい箱の設定っていうのを大枠から細かい端部の 話という流れにしないとわかりづらいというような御指摘だと思いましたので、 その示し方を整理するとして、
1:13:38	言葉で言うと想定される日本海東部の範囲を我々として対象とする日本海溝 縁部の範囲で、
1:13:48	我々としては発行というものをどのように設定しその長さをどう微調整するかと いうところは、
1:13:55	次の
1:13:56	2-2-1 以降に我々として考えた根拠をオープン券レビューなども意識なが ら設定しているという流れになってございます。
1:14:09	それで信販我々として考えたというのが最後の箱の絵がありましたけれども、
1:14:18	おきましたけれども、56 ページの結果になると。
1:14:21	という流れで我々としても整理したつもりでございます。
1:15:34	政府の事故、こうする文献レビューで書いてる話と、そのあとね冷水推本のや つを
1:15:45	基本として、
1:15:49	推本の評価対象いく同じ範囲を設定をしましてしており、そのあと南北の話 とか言いおるけれども北補助昆虫今度けど。
1:16:04	この後に出てくると深さ方向とかそういうのって。
1:16:14	同じというふうに思えてくる文献でいくと。
1:16:26	北海道電力オクデラでございます。
1:16:30	同じ文献になるものもちょっと説明上、事実記載の確認が上流側にありますけ れども、
1:16:38	記載等、

1:16:41	最終的に数字として根拠とする部分についての引き合いに出す具体的なものとして、2度出てくるものっていうのは、説明の流れ以上あると思いますけれども、
1:16:56	ありますけれども、
1:16:59	小伊達といいますか我々の評価としてはこうしたというのは、2-2以降の想定波源域の設定というところで、
1:17:09	具体的な根拠と我々の考え方として指名した。
1:17:15	示して今回再整理したつもりでございます。
1:17:25	規制庁の後ですけども、よく皆さんの論理構成が資料見ていってよくわからなくって何をベースにしてるんですか。
1:17:36	資料構成と日本海等円分を合わせましたというようなごろ。
1:17:42	お元気の設定をこういう知見に基づいて設定しますとちょっと別途言っていて、
1:17:51	結局何に基づいて設定されてるんですか皆さん。
1:17:59	北海道電力オクデラでございます。
1:18:02	何に基づいてくつとりますと2本回答縁部の代表的な知見の中から出てくる数字が最終的に箱物をつくる時の根拠になってくると思います。根拠としています。
1:18:23	規制庁サグチですけども、ちょっと確認私も確認させていただきたい。
1:18:29	おそらく御社としては31ページまでで、まず日本海等縁部というものが、
1:18:37	この範囲にありますよというものをまず言った上で、そのあとで、
1:18:43	じゃあ、実際に津波の想定をするときに、その想定波源域としてはその2本回答縁部のこの範囲の中でさらにこの、この部分について、
1:18:55	箱なりを範囲を決めて設定をしましたというのが56ページまでであると。
1:19:02	そういう二段階に分けて御説明されているっていうまず理解でよろしいですか。
1:19:14	はい。12月のヒアリングでまず縁部の範囲っていうのはどのように考えるんだっていうようなやりとりがありましたので、我々が対象とする一般的な日本回答mの範囲っていうのはこれが代表じゃないかというのが、
1:19:31	5311ページの地震本部の評価対象領域になります。
1:19:36	そこから具体的に想定波源域を設定するという箱物をつくるのは、
1:19:42	この中の範囲で細かく数字的な根拠をもって或いは調査結果等の根拠を持って設定したというのが後段の56ページまでの範囲で二段階に分けたということで、サグチさんのおっしゃる通りの
1:19:58	考え方でまとめてきております。
1:20:02	規制庁サグチですね。それで、結果的に言うとその前半部分と後半部分、

1:20:09	ていうのも、参照する知見がほぼほぼ同じようなものが代表として考えられるので、一部、もちろん細かい点は、例えば御社が独自に例えば調査をされたものの。
1:20:24	とかもちろん含まれるんですけど、そういった意味で、同じようなものが結局出てきちゃいますよという、
1:20:34	今は御説明ということでよろしいですね。
1:20:39	その通りです。
1:21:52	規制庁タニです。
1:21:54	それで
1:21:58	これはちょっと私は他のサイト等まあ書き方ん違うところについてちょっと確認してみたんですけど。
1:22:05	これ何かほかのサイトで深部方向の設定に古平度とか、これは小平 2013 内田 2019 とかそういったのをなんかいい応募してたんですけど、御社はこれは使っていない何か理由があるんですかね。使う、
1:22:21	何か模倣面の話をして、これらの知見ですね、確かにコート古平で小平のほうは、
1:22:30	文献のレビューにはあるんですけども、これは新真度方向の設定にこういったことは使っていないのかどうなのかちょっと確認させてください。
1:22:47	うん。
1:22:48	北海道電力のムロタですけど、古平につきましては、文献レビューの中で見ているんですが、基本的にこの
1:22:57	日本海中部地震の
1:22:59	知見ということで、今回は泊の断層主部については南西を今日見るべきであろうということで、
1:23:08	深度方向の設定の中では参照は取り入れ取入れてはいないというのが事実でございます。
1:23:17	深度方向の設定につきましては土木学会の 2016ーハーバードCMT解であったり、
1:23:24	大竹編のであったりひなの余震分布みを見まして海底面から 20kmという設定にしています。以上です。
1:23:37	規制庁鳥栖ほど打ちどほかっていうのもそういう同じなんですか。
1:23:49	こちらにつきましても日本海中部に関する中部地震の震源域に関する知見だったかと思しますのでそちらについても、
1:23:59	先ほどと同じ理由で参照していないというのが事実でございます。はい。椅子根拠確認できました。
1:24:09	そうですね

1:24:11	対象としている領域が違うから、これをそのままを同じように持ってきていないよってということですね。
1:24:20	あとはですね、ちょっと資料見てて場所もコウノ残ったところが 15 ページにですね。
1:24:27	これも他のサイトとの比較してて思ったんです。
1:24:31	右下に言い置き、
1:24:34	Tall2019 と大隅ほか 2018 ってというのが参考資料にあってこれ滑り量のものに関する知見なんすけどこの
1:24:44	すいませんちょっとちらっと見て大隅ほかっていうのがどこにあるのか、見つからなかったんですけど。
1:24:50	どこに
1:24:51	ありますか。
1:24:55	資料の一番最後の 424 ページに 1 枚入れております。この 1 枚ですね。すいません、すいません、私の確認不足です。
1:25:05	はい、ありがとうございます。
1:25:09	規制庁のですけれども、戻るけど結局に横クリス層、
1:25:14	推本のやつをベースに必要というねて推本のやつ空白域があるってこれを福井県の過去の震源の持って設定をしてあげて、その間については過去の震源域と推定される場所には入っていないから空白域としていますという状況があって、
1:25:33	その扱いをどう
1:25:35	使ってるんですか。
1:25:42	その説明 5
1:25:45	もしその資料上どこにもなくて、
1:25:51	推本を
1:25:53	ベースに考えます。
1:25:56	いいんですよ。
1:25:58	違うんですか。
1:26:00	推本で空白域といわれてるところの扱いについてをどう扱うんですか。
1:26:06	それをどう扱った上で、
1:26:09	の東西方向も含めて、南北方向も含めてどう設定したんですか。
1:26:18	どういう考え方で残る論理構成してる場所、資料 4 とさっぱり頭に入ってこないんで、
1:26:27	北海道電力の奥寺でございます。

1:26:31	評価対象領域の中で、地震の震源域と空白域とか、その辺りが細かく定義されているというようなところは当然、どういう考え方で、地震本部がそうしてるかというのは、
1:26:49	理解しているところですけども、ちょっと返納を我々も資料見なれている部分はあったりしてですね。
1:26:57	例えば 25 ページの
1:27:01	文献レビューのところで行った評価対象領域で、
1:27:05	空白域に相当するところがあるとか、こうこうこういうところを、
1:27:11	レビューしているというところで、
1:27:13	アオキ天下りにそういう理解をしてしまっているところがありましたので、もう少し、その辺どう考えているかというところは当然我々もわかっておりますので、今おっしゃったように
1:27:29	この辺りの地震本部でどういう見解を持っていて、我々がその 320kmを設定するときはどう考え方かというところが、
1:27:40	少し説明としてつながりがわかりづらかったかなと思いますので、
1:27:46	資料構成といいますかその辺りがわかるように修正考えたいと思います。
1:28:01	についての後ですけども、繋がり終わりということも全く説明がされていないんだけど、どういう考えて、2 領域からスタートするんですか。
1:28:11	北海道電力オクデラでございます。細かい話を言いますと、
1:28:17	南北の設定というところの 39 ページ辺りに、
1:28:23	我々の評価結果と対応したときに領域を超えたところはどう。
1:28:31	長さを考えますよというところは、北端の設定括弧基盤構造というところで書かせていただいたつもりなんですけれども、
1:28:42	ちょっとその辺が、
1:28:44	我々としてはここに書かせていただいたつもりなんですけれども、
1:28:56	規制庁の和智ですけど、居所皆さんは政府の領域を
1:29:02	基づいてやりますと言ってるんだよねまずね。
1:29:07	なのに、推本の領域で空白域とされている部分を跨いだ形で、領域を設定します。
1:29:15	とするんだけど。
1:29:17	浄水方法なぜ空白域という形にしていて、それを皆さんは何でそこを領域として考えるようにするのかとかってというのはどういう考えなんですか。
1:29:49	オクデラでございます。我々としては推本の領域というのでいろんな震源域が区切られているというところは理解しているんですけども、
1:30:00	そもそも 320kmっていうところを我々が設定した大昔の話ですけども、

1:30:10	そういった領域が一般的には知られているとはいうものの、当時審査を受けたときに、大昔の話にはなりませんけれども、
1:30:21	東北の地震があつて連動というようなものも考えなきゃいけないというような中で考えていたというこういう設定を考えていったということで、
1:30:34	そあたりが、今私がしゃべったようなところが、それで連動を考えたっていう経緯があるんですけれども、
1:30:41	そこ
1:30:42	そこは私が今言ったようなところがわかりづらいというようなところでしょうか。
1:30:49	すみません質問系になってしまいましたけれども、
1:30:54	1日ですけど、要はところ、
1:30:57	薄いほうの与党空白領域を置いてるんだけど、それを空白領域としないでいいなあ。
1:31:05	北海道政府法規等の据え置きをくっつけた形で、
1:31:11	領域を設定します。
1:31:15	という結論になってるんだけど、推本が言ってる領域と違うんだけど、それは何ですか。
1:31:29	地震の発生影響全く連動を
1:31:35	起こしたような事例が東北沖の地震であったのでそういったことも考慮して跨いで
1:31:44	320kmなる領域をつなげたものを設定したというのが今までの経緯考え方でございます。
1:32:04	規制庁のテストを説明された話と39ページてる基盤構造の説明等、
1:32:12	言ってることが、
1:32:13	記号ような気がするんですけど、同じこと言われてるんです。
1:32:27	オクデラでございます。連動を考慮することができないのかと当時昔の審査になりますけれども、そういうようなやりとりがありまして、連動を考慮すべきかどうかというところ、
1:32:43	ところを我々として考えたときに細かいいい構造の話になりますけれども、こういったところに着目すると連動する必要もあるのではないかという、
1:32:58	その必要性を考える上での根拠が39ページの北端の設定に書かせえへ書かれている根拠です。
1:33:09	その根拠を持った上で、じゃあ、連動を考慮するかしないかっていったときに、空白域を跨ぐ連動を考慮したという結果でございます。
1:35:16	規制庁ナイトウですけれども、えっとね。
1:35:19	何か言われたから、規制庁から指摘されたからやりましたとしか答えにならなくて、刀禰式をすところの趣旨っていうのは理解しといて欲しいんだけど

	ど、推本が空白域等を行っているのと、過去に起こったところとやっているところについてはひずみ集中だ中では、
1:35:37	これは歴史観測記録歴史記録から 7.5 で確認されている領域、地震についての
1:35:46	本件、
1:35:47	なり想定震源域を設定すると。
1:35:51	空白域があります。
1:35:53	と。
1:35:54	いう設定の仕方ではそこは認識されてますよね。
1:35:58	認識しております。
1:36:01	それからこのおっきなやつが起こってないからというだけで、
1:36:06	連動しないといえるんですか。
1:36:12	通ってるわけですよ。我々は、
1:36:17	それで、それでよく皆さんはそのあと 39 ページのところ、要はよくよく地殻構造、基盤構造とかを見ると、空白域といわれている所疑問をかつもうものはあるし、全体を見るとか、対応南山まで
1:36:35	一連の構造だと考えられるので、ここは
1:36:41	空白域というところも含めて管板ますってそういうことを進めてはないんですか。
1:37:15	北海道電力オクデラでございます。
1:37:21	我々、この辺り調査やって、断層などを評価しているんですけども、そこで評価されている断層が後志海盆の西縁にあるFBになり、
1:37:33	ちょっと同じようなセンスになりますけれども、FBさんが
1:37:39	同じような高まりのへりにFB2 と同じ列の高まりのへりにあって配分を形成している。
1:37:49	活構造的評価で言いますと、この辺りまでと我々評価しているんですけども、
1:37:57	地形的な海盆の流れでいいますと、
1:38:01	赤のところまで同じ地形と委員が続いているというところに着目すると。
1:38:08	そういったところ、
1:38:11	は、
1:38:12	北海道製法機能震源域の領域にも進入してきていると。
1:38:18	ということで、
1:38:19	地形とか、断層評価。
1:38:23	その辺りの特徴を考慮して跨いでる地形的特徴が跨いでいるような賃金今日

1:38:30	空白域を跨い連続しているというようなところも考慮して衛生法規と南西大きの領域を合体した形で、
1:38:42	北端を評価したという。我々の評価となっております。
1:38:50	期中においてですけれども、であればそう書いてくださいよ。今書いている資料上そうは読めない。
1:39:00	北海道電力オクデラでございます。今終わった芝
1:39:06	しゃべった内容というのは、今 39 ページのここに書いてある出資に従って説明したつもりなんですけれども、S、私の今しゃべった内容が
1:39:18	被災だと読み取りづらいという、今のコメント、
1:39:24	コメントの趣旨はそういう理解でよろしいでしょうか。
1:39:29	規制庁ないですけど、39 ページで書いてるのは、この構造はこういうふうになってますとしか言ってないですよ。
1:39:40	推本で空白域等を行っているのはどういう考え方だけでも、それに対して実際の地形調査やった結果としてこういうふうになっていて、なので、それらをそう考えると、この時点で起こらないとか、県立過去の
1:39:56	歴史地震等が記録されてないので可能性は小さいとは思いますが、
1:40:01	そこはもう書いてあるけど、可能性は小さいと思うけれどもそういう調査結果を踏まえた上で 300kgに
1:40:11	する。
1:40:14	ということなんじゃないか、北端をそこまで延長かけて空白域を連動空白域についても、そこを、震源域と考えて北東に設定するってそういうことではないんですか。
1:40:27	もう今おっしゃった通りの考えでございます。ちょっと。
1:40:32	私の説明がわかりづらかったところがこの記載がわかりづらいというような所取り返しましたので、
1:40:42	その書きぶりに考えていることは全く今異種一緒のほぼ一緒の内容でございますので、この書きぶりについて検討させて修正を検討させていただきます。
1:40:56	規制庁の伊藤ですけども 1 とね、この構造をこうこうです、この項構造こうですと 1 個 1 個上げるんじゃなくてそれらを考えた上で、北海道電力として、全体としてどう組み合わせでどういう考え方でそれらを拾い上げて最終結論どうしたのか。
1:41:14	わかるように書いてください。いや書いてありますかってありますけど、それを、それらをどういうふうに総合的に判断したのかってどこにも書いてないですよ。
1:41:24	それって我々に資料見て考えるっていうんですか。

1:41:29	皆さんの考え方が示されたような中で我々それでいいとも悪いも何もユニシスよね。
1:41:39	オクデラでございます。記載を再度検討させていただきます。
1:42:50	規制庁の伊藤ですけれども、
1:42:52	落とす複数方向の話もよくわかんなくて、
1:42:56	水位法ベースにしますという程度推本を深さ方向どうだって言ってるんですか。
1:43:03	ここが特にもし量と出てこないんですね。
1:43:09	これで深さ方向を 20kmとしますと言ってるのは、推本を言ってるのと同じ結果になってるんですか違う結果になったんですか。
1:43:39	北海道電力のアオキですと深度方向について説明追加させていただきます。
1:43:45	スライドですが、51 ページから深度方向の設定となっております、51 ページが土木学会で言っていることを 52 ページ 53 ページが地震本部で述べていることを書いてまとめております。
1:44:00	その事項 12 ページのところでは地殻構造について、
1:44:04	地震本部 2003 では、以降のところ、大竹ほか編から示される研究成果から、
1:44:11	北海道南西沖地震が海洋性地殻から大陸性地殻へと。
1:44:16	厚さが急変する場所破壊するように発生しており、
1:44:19	当断層面の硬さ 20kmメーター程度以浅と地震本部の中でこのように述べております。
1:44:25	同じように 53 ページでもちょっと日野の文献を参照して地震本部の中で、ほとんどの与信は 20km名耐専の領域で発生しているといったことが書かれておりますが、これらの記載の内容を踏まえて、56 ページの設定根拠のところ、
1:44:42	地震本部と、深度方向の設定根拠のところ、地震本部と説明させていただきました。
1:44:48	御説明は以上となります。
1:45:15	オクデラでございます。もしわかりづらい部分があったかもしれないんですけども、地震本部では、
1:45:23	日能の余震分布引き合いに出している、最後の 54 ページのところでは昨日ほかで代表をさせて結論づけているというところ、補足です。
1:48:34	規制庁ナイトウですけれども、ということに結局水位フォンで言っている空白域も含めてと。
1:48:44	製法沖等、
1:48:48	南西大きい
1:48:49	があって、間に空白域があってその南西沖イノシタにも空白域があって、

1:48:55	青森県政法規があるという形になっていて、
1:48:59	Dを推本を東西方向は 50 キロっていうてるんですよね。負荷ほうこそ方向 20 キロって言ってますよね。
1:49:07	で、
1:49:08	結局これ皆さんの資料を読んでもね、推本が言っているやつをベースにした上で、その他の考慮した上で、
1:49:18	どこが推本としてどこが
1:49:21	自社でさらなる検討を加えた結果として抱えているっていうところが
1:49:26	あんまり 4 っていうてもわかんないですよ。どうも用意を結局は製法をきつと南西大さの間の空白域は地質構造を見た上でここは空白域としないで、
1:49:42	一体、
1:49:45	起こす領域として考えますとしていて、
1:49:49	南側青柳が出っ張っているのでそっちを採用するんで推本の空白域まで入れ青柳の部分は考慮しました。
1:49:59	っていう東西は 50km という考え方については、いろんな従事者でやっている測線を考えても変わりませんという。
1:50:09	ところと深さ 20km というのを、推本の考え方でそのまま踏襲してます。
1:50:14	そういう結論ということでもいいですか。
1:50:23	北海道電力オクデラでございます。
1:50:26	結論はその通りでございますけれども、今までのちょっとやりとりの中で、
1:50:35	ちょっとわかりづらいとやりとりになってしまっているところが推本をベースで推本のいろいろなものも我々は当然確認しているんですけども、その辺りが根拠としてリンク
1:50:51	書面としてリンクされていないというところが、
1:50:55	わかりづらい部分だと思うのかなと今、私自身考えておまして、当然製法機についても推本ベースで我々の調査結果とかと合わせると、ここまで連動して考慮したほうがよい先ほど私が説明した通りで、
1:51:12	その部分は、またわかりやすくするとして、当然南部についても、地震本部で南西を昨日領域っていうのは当然北海道南西沖地震を意識した領域でありますので、その範囲で、
1:51:28	長瀬沖のモデルなどで再南端まで行っているものまで安全側で考慮すると。
1:51:34	うーん。
1:51:36	今青柳設定したいところというところまで伸ばした方が評価上伸ばしたほうがいいのではないかとということで、ここも南西置きをベースとして考えているというところは、我々としては考えているところですので、

1:51:53	そこら辺の地震本部の考え方と我々が細かく設定した根拠の部分のつなぎの ところをわかりやすくするように、資料を修正したいなと今思ったところです。
1:52:40	。
1:52:41	規制することにする。今一度、何かほかのサイトのまとめ方とかも参考にしな がらもう少しこう流れるようにですね、或いは根拠がはっきりするようにです ね、資料この辺ははげ想定波源域の設定っていうのは、
1:52:57	説明資料作っていただけたらと思います。考えがよくわかるようにしていただき たいということです。
1:53:07	オクデラでございます。わかりました。
1:53:20	規制庁サグチですけども。
1:53:23	ちょっとですね、いろいろ説明とか考え方がどうしてもですね、
1:53:30	見ていてわからない部分もあるっていうのもあって、ちょっと次回までに幾つか ですね。
1:53:37	考え方。
1:53:40	とかそういうのも含めてちょっと資料化をして追加とかをお願いしたいのと、
1:53:46	ちょっと幾つか全体を通して確認をさせていただきたいんですけど。
1:53:51	まずちょっと、
1:53:53	お願いというのが、
1:53:56	15 ページに、
1:53:58	全体の
1:54:00	検討フローということがあるんですけど。
1:54:03	で、
1:54:04	前回から今回もかけて大きく変わったのがこの検討フローの真ん中にパラメー タスタディ、
1:54:12	これパラメータスタディのフローっていうのが、これ前回から今回大きく変わ っていると思いますので、それは前回の審査会合も前回といっても、1年以上 前の9月とかも、
1:54:29	介護ですか。
1:54:30	のときに、前回から今回見かけ抵抗をパラメータスタディのフローが変更にな りましたっていうのが、
1:54:39	示されたと思いますので、それと同じような形で今回も資料としてどういうふう に変わりましたよっていうのは、
1:54:47	つけてください。
1:54:49	まずそれでよろしいですね。
1:54:57	北海道電力オクデラでございます。わかりました。
1:55:02	はい。規制庁サービス。

1:55:04	続いてすみませんちょっと1ページに戻るんですけど、今ちょっとそのパラメータスタディのことを少し確認をさせていただきましたけど、
1:55:14	14、同じように、ページ前の14ページで今回は傍聴てとか防波堤に関して健全なものを問わ損傷を考慮したもの
1:55:29	っていう形で
1:55:33	結果を示されていてですね。
1:55:35	で、全体の流れとしては、損傷とか言ってますけど、結局地形モデルをどうするかっていう今整理をされているのかなと。
1:55:46	この14ページの2.4ポツが濁っ2.4です。
1:55:51	のところでは、
1:55:52	で、それらに対して特に防波堤を損傷した。
1:55:58	っていうものを考慮した場合、こちらも影響が大きくて、
1:56:03	特に傍聴て特に
1:56:08	した防潮て
1:56:10	北側防潮というか、
1:56:12	っていう影響は
1:56:14	今回の資料では、の見る限りでは、あまりこの津波評価に影響はなかったよということを御説明
1:56:23	されたかったのかなと思ったんですけど。
1:56:26	ちょっとそうまずまずそういう理解でいいかどうか教えてください
1:56:34	その通りの認識で間違いないです。
1:56:38	はい、ありがとうございます。そうするとですね。
1:56:41	で、結局、最初にタニから
1:56:47	何でしたっけ。
1:56:49	そう。
1:56:54	補足資料っていう形で、例えば139ページ
1:56:58	以降とかでされているんですけど。
1:57:01	実は
1:57:02	位置付けが、
1:57:04	あんまりよくわからなくてですね、ちょっとこの考え方について、
1:57:10	やっぱりですね、どういうケースのものを対象にして、こういうのをやったのか。
1:57:17	っていうのが多分その前に何ページ目が多分あったと思うんですけど。
1:57:22	で、
1:57:25	例えば139ページでいうと一番最初に影響が大きいと考えられる以下の波源モデルを対象とするということで、

1:57:35	三つですね。
1:57:37	これは防潮工程前面と、あと北側敷地北側をいただき地域高はBの
1:57:44	これの最大ケース。
1:57:47	しかも上昇側です。
1:57:49	というものを対象に確認をしましたと。
1:57:53	ということなんですけど。
1:57:55	じゃあなぜ、ちょっと
1:57:58	今日の御説明の中で多分掃除をするのがこの辺りだから、特にこの辺りに注目して
1:58:07	その影響について確認をしましたというような多分御説明があったと思うんですけど。
1:58:16	なぜこの三つの評価点だけでいいのかとかですね。
1:58:22	当然上昇側だけをなぜ対象に、
1:58:27	というところが、
1:58:29	ちょっと今の資料ではわからないんですけど。
1:58:33	てそこはまず、あの考え方をきちんと書いていただきたいというのと、
1:58:40	やっぱりこの位置付けですよ。
1:58:44	この 139 ページ目のところであるように、こうずっと不ずっとこの後見ていくとした敷地のこの北側防潮で
1:58:58	っていうのは、
1:58:59	あってもあってもなくても、その損傷の有無によって津波の評価の影響っていうのはすごく小さいかなあというのはわかるんですけど。
1:59:09	そうしたときに、検討とするケース。
1:59:14	さっきちょっと繰り返しになりますけど。
1:59:17	単なるこれがですね。
1:59:18	影響が小さいのであくまでもこれ影響検討なんですよという位置付けにするのか、そうじゃなくて、ちゃんと全部確認をして影響がありませんでしたというのか。
1:59:32	そのあたりちょっと整理をしていただきたいんですけど。
1:59:36	というのは多分、これ全部やるとすごいケースになってそれで御社も多分こう幾つかケースを絞ってやったほうが効率的っていうのもあって、今のケースに落ち着いたのかなと思うんですけど。
1:59:52	単なる影響検討の話であれば、
1:59:55	言ってしまうばですね。
1:59:57	最終結果ありますよね。
2:00:01	この 297 ページとか、

2:00:03	301 ページのこの最終結果の
2:00:07	波源に対してやる。
2:00:09	ていうのも一つの手かなと思ったんですね。
2:00:13	最初から何か決め打ちでこれとこれとこれってやるよりも、
2:00:18	もう影響がないんですよということは最初のうちに言っといて、
2:00:23	じゃあ本当に影響がないのかどうかという確認かどうかわかんないですけどね。わかんないんですけど、297 ページとか 200。
2:00:32	301 ページの波源に対してやって、
2:00:36	逆に言うと、その結果って本当に
2:00:39	今の
2:00:41	301 ページとか、
2:00:43	出されている結果を確実に上回ってこない。
2:00:49	いうことって、多分今の資料だと言ってなく、
2:00:52	それはなぜかという、
2:00:55	301 ページに出ているような波源に対して、
2:00:58	やってないからなんですよ。
2:01:00	あくまでも対象は、例えば 301 ページで言うと、上三つぐらいしかやっていなくて、
2:01:07	それでほかの評価でも見ている。
2:01:10	そうするとちょっと、
2:01:13	確認という意味では不十分かなっていうのが正直なところあるんですけど、あそこは多分会合の話になると思うので、
2:01:22	今特に議論するつもりはありませんけど、まあそういったことも含めてですね、ちょっとどういうケースでやるのが本当にいいのかっていう考え方はしっかりと
2:01:33	と書いていただきたいと思います。
2:01:36	そこは、
2:01:37	よろしいですか。一部ちょっと書いてある、あることあるんですけど今、
2:01:50	北海道電力のムロタですね今サグチさんから。
2:01:54	指摘いただいた内容を踏まえまして、その趣旨であったり、
2:01:59	このケースで足りてるのかとか、
2:02:01	ということがわかるように、
2:02:04	再考させていただきます。
2:02:07	以上です。
2:02:09	規制庁サグチですすいませんお願いしますあとすみません本当細かいこととかで、
2:02:14	恐縮なんですけど、

2:02:17	資料の充実化という観点も含めて、80、
2:02:21	2 ページ。
2:02:28	パラメータスタディ実施の要否ということはあるんですけど、この表の中の真ん中のところでパラメータスタディを実施する因子の選定ってありますけど、これで多分細かく分けると、概略パラスタと将来詳細パラスタと。
2:02:44	多分分けられると思うんですよね、当然大間とかその先行サイトでは、多分そういう形で示していただいているので、どうい
2:02:54	特に概略パラスタでは、ここのパラメータを
2:03:00	変動させて実施し、
2:03:02	上載下にはこれを
2:03:05	変動させて実施していますっていうような形でわかるような形でちょっと示していただきたいと思います。
2:03:13	あとすみません、次の 83 ページなんですけど。
2:03:16	これ土木学会 2016 っていうことになるんですけど、
2:03:22	幾つかっていうか注釈がついていて、
2:03:26	※1 から※6 ですかね。これに対するちょっと説明がないんでこれは超えてください。
2:03:33	あと次の 84 ページとかですね、これも可能だったら、以前は、
2:03:39	大体Step1-1 とか、ステップ 2 の 1、いろいろあるんですけど、各ステップで大体何通りぐらいやってるかっていうのを示していただいていたと思うんで、今回は、例えばStep1-1 で即した下にある 8 通りというのがあるんですけど、それ以外については、
2:03:56	サントリーとかないので、結局、
2:03:59	最終的にですね。
2:04:01	合計でいうと例えば何通りの、これ計算をやったのか。
2:04:06	パラメータスタディ
2:04:08	っていうような
2:04:09	ことがわかるような形でちょっと示していただきたいと。
2:04:14	思います。
2:04:16	で、あと、
2:04:18	すみません飛んでいきますけど、90 ページですね。
2:04:20	90 ページも、これは
2:04:22	根拠となる話なので、
2:04:25	90 ページの
2:04:28	箱書きの下から二つ目の丸のところに、
2:04:32	なお過去に実施している発電所を波源としてはいわゆる決着電波解析

2:04:38	これは文言でもあるんで、文言があるんですけど、
2:04:42	資料がなくてですね、これはもう以前の会合を終了も含めて、当然出ているので、我々わかってますけれども、高齢を根拠にするのであれば、少なくとも次の
2:04:54	ページぐらいに、それを載せていただくとか、根拠として、
2:05:00	資料を出していただきたいと思います。
2:05:04	ちょっと幾つか言いましたけど、
2:05:07	ちょっとここ、これについては、
2:05:10	よろしいですかね。
2:05:13	北海道電力のムロタですね今コメントがありました 82 ページ詳細概略パラスタわかるように、
2:05:23	当 83 ページのこの土木学会の注釈
2:05:27	もう説明に加えると 84 ページはケース数がわかるようにと 90 ページのお客伝播の過去の会合資料を根拠として追記する追加すると。
2:05:37	いうことで対応したいと思います。
2:05:40	以上です。
2:05:42	規制庁サグチです。
2:05:44	じゃあすみませんそのあたりをですね、ちょっと資料の充実化っていう意味でも、すみませんがよろしく願います。
2:05:52	私からは以上です。
2:06:05	規制庁投入す。
2:06:07	ちょっと私もちょっと細かい点として、
2:06:12	この検討ケースっていうのが何か幾つかあるんだけど、私あのどうどういう地形で検討しているのがちょっとわかりにくくて、例えば 96 ページみたいな、なんていうんですかね。
2:06:28	こんな知見モデルでやったんですよっていうのが各ケースに簡単につくれるのであればですけど、あればなんかはわかりやすいんですけど、その辺ってなんかつけれないのかなと。
2:06:40	出てきたら、どんなモデルでも計算をやってますっていうのがわかるように、
2:06:45	していただけたらなと思います。
2:06:48	あとですね、ちょっと確認したいのか。
2:06:52	評点表で多分なんかわかりやすく色分けをされてると思うんですけど。
2:06:58	例えば、212 ページ。
2:07:01	にしましょうか。
2:07:03	この色分け、7 何の色分けなんですっけ。
2:07:08	教えていただけたら。

2:07:11	緑と青と
2:07:14	ピンクとあとオレンジ色使ってると思うんですけど、何かそれがわかればわかり見やすくなるんじゃないかなと思って確認させてください。
2:07:32	スライドで言いますと 297 ページを開いてください。
2:07:41	こちら、結果としてなんですけど評価用の想定津波として選定される波源のパラメータに着目している訳を実施しております。
2:07:51	こちらの 297 ページで言いますと上三つのものについては、アスペリティ位置がdeから南へ 20kmメーター移動させたもので断層パターン 6 は共通の条件として挙げられます。わかりました。わかりました。301 ページで使ってる医療と、
2:08:08	297 ページで使ってる色投票で使ってる量が一緒ってことですね。
2:08:13	そういった趣旨ですね。わかりました。ありがとうございました。そういう目で見たらちょっと見やすくなると思います。
2:08:18	ありがとうございます。
2:08:20	あとですね、もう 74 ページ、これはちょっとわかりやすさっていう話だと思うんですけど、ここですね、不均質性の設定っていうことで説明してるんですけど。
2:08:32	これ何か得てるかって言ったら滑りを不検出を考慮した滑りTモデルを使ったほうが保守的なんだっていうこと書いてあるんですけど。
2:08:42	実はこの前のページが最大滑り量の話はずっとしてるんですよ。
2:08:48	例えばこれ御社の
2:08:51	御説明の流れとして、
2:08:53	最大滑り量を例えば一緒にしたときには、果たしてアスペリティモデルのほうが、
2:09:00	保守的なんですかっていうコウノなんかちょっと変な誤解を招くんですよ、これってあれですよ平均滑り量を一緒と考えたら、
2:09:09	アスペリティモデルのほうが保守的なんだっていう説明なんですよね。その辺ちょっとわかるように、
2:09:15	何を固定したときに比べたらどうなんだっていうのがわかるようにしていただけたらなと思います。
2:09:32	続けていいですかね。
2:09:36	はい、今の御趣旨反映
2:09:39	今の御出身の指摘の御趣旨を踏まえて反映させていただきます。はい、お願いします。引き続きですね、90 ページで、これ黒字ケースっていうのを書いてるんですけど、これ前もなんか聞いてるんですけど、くの字をつくるときに、

2:09:55	どこを固定して曲げているのかっていうのがちょっと絵としてわかるようにこれ何か真ん中のところ、基準にしても挙げましたっていう話だったと思うんで。
2:10:06	わかるようにしてくださいと。
2:10:16	北海道電カムロタです。黒字のモデルの作り方がわかるような資料を追加します。
2:10:22	以上です。
2:10:23	はい、お願いします。
2:10:26	あとですね、このくの字のモデルっていうのが、これ御社の場合ステップごとにこう続いていって、
2:10:38	2-2 かな。
2:10:40	次の2で選ばれたものを黒字に行くっていうような手順をやってるんですよね。パラスタの流れの中で選ばれたものが黒字に行くっていう。その流れわかるんですけど、ただ黒字でちょっとこの
2:10:58	そもそもちょっと考え方が他とは違うものなので、
2:11:03	その選ばれたものがくの字で推移が高いところにちゃんとハマっているのかどうかみたいなものは説明として加えたほうがいいかなと思ってましてその辺ちょっとできたら、お願いします。
2:11:25	オクデラでございます。ちょっと水位が高くなっているところにはまっているのかどうかという意味がちょっとすみませんわかんなかったんですけども、もう一度お願いしますの逆伝播で逆伝播でね。
2:11:40	この範囲、こういった形が
2:11:44	聞くだというのを考えているわけなので、そのアスペリティの位置がそのくの字のところちゃんと入っているのかどうかとか、
2:11:53	多分そういった確認があるのかなと思いますので、
2:11:57	お願いできたらと思います。
2:12:04	北海道電力のムロタですね、何度もすみません、逆伝播の被水が高くなっているような位置にちゃんとアスペリティが来ているとかそういうような確認を。そうですねできればということです。そうです。わかりました。はい。
2:12:28	規制庁クマガエです。私からもすごい細かい点だけちょっと確認させてください。
2:12:33	101 ページの補足説明補足資料のところなんですけれども、
2:12:38	これ①については、
2:12:41	サトウは敷地北側の防波堤の全体をなしということで、
2:12:45	②は、北部なし③南部なししてるんです。これは要するに、
2:12:50	敷地北側防波堤の北部だけがなしなんでだけがなしっていうことでよろしいですか。

2:12:57	ちょっと確認だけですけど。
2:12:59	そのような趣旨であっております。
2:13:02	規制庁クマガエです。
2:13:04	ちょっとこのモチダケーブルとぱっと見はわかりづらいので、そこはわかりやすくしていただきたいというのと、あとこの
2:13:11	敷地北側のほうは、防潮てっていうのは、これ森とかなんかで確かされたりするんですけどつけなかつ特にな構造物として何か物をつくるんじゃなくて、
2:13:21	ものとしてされるんでしょう。
2:13:27	この
2:13:28	断面を見てみるとですね、例えばCC断面とか見ると、
2:13:33	敷地北側防潮てっていうのが
2:13:37	打ち合わせの上の赤線が二つぐらい山側のって、これ両方とも。
2:13:42	防潮てなってもうちょっとさらに南側のところと海側のところ行くとですね、ちょっとぽつとなんか構造物みたいなのが、
2:13:51	ちょっとあるようなものがあるんですけど。
2:13:54	これでどういったものがあるのか。
2:13:56	これ、
2:13:57	防波堤がここまで伸びてるっていうのはイメージなんでしょうか。ちょっとその構造を、
2:14:03	もしわかれば、
2:14:04	断面のところに書いていただければなと思うんですけども。
2:14:07	意味わかりますでしょうか。
2:14:10	北海道電力のムロタです。今CCb断面で、資料にはわかるようについていしますが、CC断面で言いますと、
2:14:21	日
2:14:23	氏名の右側の子供リード部分が、こちらはセメント改良とセメントと土をまぜた構造になってまして、
2:14:31	その左側が、
2:14:33	昨日は関西を盛り立てたような構造になってますんでさ、さらに左側のこのポツのとこへとがったようなものはこれ護岸構造物になりますので、このパラペットというか、
2:14:46	波が一緒のようなものがついてるので
2:14:48	となっていると。
2:14:50	いう構造でございます。
2:14:52	以上です。

2:14:54	一応クマガエです。ありがとうございます。要するに津波防護施設として設定されてるってことなんです。
2:15:05	今後、
2:15:06	津波防護施設の防護調停としてをこの左側の 101 ページの左側の平面図のこの赤いラインを超低として設定する予定でございますので、
2:15:17	左側の北部なしであったり南部な人がこのように、に記載されている記載されている既設今も設置済みの防潮点については、
2:15:28	今実質自主設備ということで、津波防護施設には設定しない方針でございます。
2:15:36	以上です。
2:15:42	ちょっと関連してなんですけど。
2:15:45	そうそう 98 ページで、
2:15:49	98 ページでね敷地北側防潮てっていうのがラインで入って水用ね。
2:15:56	で、これは粹なんていうんですかね、簡単に示すとこの題になって実際に北側防潮てっていうのを正確に
2:16:05	この範囲だっていうのは、101 ページのこの色塗ってるブルーと緑が
2:16:13	北側防潮てっていうことでいいんですか。
2:16:17	その認識で問題ありません。以上です。
2:16:23	今起こりますなんか 98 ページってこのオレンジ色がなんていうんですかねへこんだところに入ってるんですよね何かこの辺、
2:16:34	もうちょっとわかりやすくないかなっていうので。これは工夫できたらということをお願いします。
2:16:44	色づけと工夫させていただきます以上です。
2:16:49	規制庁クマガエですね、ちょっともう 1 点だけ
2:16:53	細かい点確認ですけども、
2:17:00	297 とか 200、301 ページのところ、それぞれ
2:17:05	数値シミュレーションの結果一覧として記載されてますけど。
2:17:09	ここで、
2:17:10	計算値ということで、
2:17:12	それぞれの何mなのかっていうのがあるんだよ、これ説明では
2:17:16	水位変動量がこういう数字なんですよという御説明ではあったんですけども、計算値っていうだけではちょっとわかりづらくてですね。
2:17:25	水位変動量というのは、
2:17:27	どっからどこまでの変動量ですね、示されてるのかっていうのをちょっと教えていただければと思うんですが、いかがでしょう
2:17:43	汚水、北海道電力のムロタですけれどもこの計算値というのは、

2:17:50	海水をPPゼロとしたときの0からの変動量。
2:17:56	ということで記載してます。
2:18:00	規制庁クマガエです。
2:18:02	であれば、ちょっとそこら辺はわかりやすくてですね。
2:18:05	整理していただければと思います。
2:18:07	だから、
2:18:10	これ上昇側だから、pptゼロからの上昇の分で加工場側Pd0からマイナス分がそれぞれそれぞれ記載されてるといようなイメージです。
2:18:21	はい、そのような認識で問題ありません。
2:18:44	規制庁クマガエですけど。
2:18:47	そうすると、ここの設定をする実際の水位を
2:18:51	整理されているような形になって、もしわかりやすく書けば、TPP
2:18:56	9.86とかTPマイナス8.76とそういった
2:19:01	数字になるっていうことでしょう。
2:19:09	北海道電力のムロタでございます。この計算値は水位の変動量ですので、TPPに換算するとなるところに潮位を朔望平均潮位であったり、干潮位を足し込むような
2:19:24	足し算というか処理になります。以上です。
2:19:31	規制庁クマガエです。
2:19:33	わかりました。ちょっとそこら辺はですね計算値だけだとちょっとわかりづらいところがありますので、わかりやすくてですね整理していただいて、もし今の
2:19:44	資料全体でもし水曜ですね、TPで表してるんであればですね。
2:19:49	それがわかるようにですねどっかに書いていただければ、いただければなと思いますのでよろしくお願い。
2:19:59	資料に示している数値が変動量なのか、表TPP表記なのかわかるような工夫をさせていただきます。以上です。
2:20:14	規制庁クマガエですそれではよろしくお願いします。
2:20:21	規制庁サグチですけども。
2:20:23	あと、すいません、本当にお願いばかりで申し訳ないんですけど、やっぱりわかりやすさの観点から、最終的な解析結果、
2:20:34	例えば137ページでこれ健全地形モデル上、
2:20:39	もう
2:20:40	最終結果だと思うんですけど、件数はどれが
2:20:45	それぞれケースどういうケースっていうのはわかるんですけど、さっき崎田モデル計算結果

2:20:51	数水位がどれぐらいになってるのかっていうのは、例えば一番下にもう一つだんだんというか、漁業という枠をつけて、
2:21:00	それぞれ7メートルぐらいになってるのかっていうのは、
2:21:03	入れていただければと思いますこれあの、当然185ページとか、
2:21:09	233ページとか、
2:21:13	281ページ。
2:21:15	ていうのも、これが多分それぞれのモデルの最終結果になってると思いますので、ここはその前に全部のつけてありますようでなくて、
2:21:28	ちょっとまとめにした形で、
2:21:30	示していただきたいというのと、冒頭の御ところでタニみましたけれども、
2:21:38	防波堤の損傷を考慮した地形モデルっていうのは1から①から③まであるので、最終的にはその①から③、
2:21:46	の要は
2:21:49	最大ケースっていうのをちょっと並べた形でですね例えば
2:21:57	282ページ目以降のどこかでいいので。
2:22:01	そこは示してわかりやすくですね示していただければと。
2:22:05	思いますのでよろしくお願いします。
2:22:10	これと電力のボルトです各STEPの最後に推移を
2:22:15	最終ケースに残ったものに水位を追加するものと各地系の結果を並べた上で、
2:22:25	東りの評価用想定津波を選定するかというようなことがわかるような資料に修正いたします。以上です。
2:22:41	はい。規制庁サグチです。よろしく申し上げます。すいませんでちょっと細かいことなんですけど、先ほどもタニのほうから確認しました評価硫黄を
2:22:56	その津波でしたっけ。ごめんなさい。
2:23:00	表評価用想定津波なんですけど、これ一応以前のその会合のところも含めてまだされた定義を出されたということなんで、それがわかるような形で例えば第何回の会合で、こういうふうに定義しましたみたいな、そういう何か注釈みたいなのはちょっと入れていただけますか。
2:23:21	評価用想定津波の定義を追記をさせていただきます。またいつの会合で示したかもわかるようにいたします。
2:23:30	以上です。
2:24:55	質問の意図ですけども、
2:24:57	このね、102ページのところで、さっきも議論あった。
2:25:00	今聞いたんだけど。
2:25:02	この組織北側Eと敷地北側のbの評価点っていう

2:25:08	いるんですか。
2:25:17	いや、もう問題意識をとって、防潮という前面のところで、
2:25:22	ここの9房
2:25:25	協定の内側のところにも評価点を設けてるわけですよね。
2:25:30	ということを
2:25:34	他人事
2:25:36	南側後、
2:25:37	こうした場合の評価でもって、
2:25:40	傍聴点のところって高さが幾つか新しい膨張と残って高さが出るわけだから、
2:25:51	評価点としては、
2:25:58	この赤い防潮という前面だけってこと言ってるような気がするんだけど。
2:26:04	これって何に使ってるんです。
2:26:07	黄色のハッチング、
2:26:10	評価って、
2:26:20	北海道電力アオキです。質問の件について敷地北側aとbなぜ分けてるのかという観点かと思しますのでその点についてどうして説明させていただきガチガチはこれは何に使ってるんですけど、要らないんじゃないんですか。
2:26:35	防潮というの前面でもって、当期防潮低下高水量が凍る迷子と公立タナカ個々の評価、評価水位がゼロになって壊れていけば火が出てくるってたわけですよね、赤いところの
2:26:48	ところに、
2:26:51	単純にそういう話だと思っただけど、この北側aっていう黄色とオレンジのハッチングの評価点っていうのは何に使っているのか。
2:27:02	わからないんですけど。
2:27:07	今回敷地北側を入れた趣旨としましては、
2:27:12	どう。
2:27:13	敷地北側Bで水位が高くなった波源
2:27:17	のものが、
2:27:19	敷地北側bの項はした箇所から防潮低の前面まで到達する可能性があるんじゃないかというところに懸念しまして、
2:27:28	当初敷地北側Bというものを設定しました結果として影響確認を行いまして、ほとんど影響がないというところを資料上まとめておりますが、入れた経緯としましては、検討始める場合段階として、
2:27:43	影響がある波源が選定されるのではというところを懸念して入れたということになります。

2:27:59	規制庁のですけれども、いや、御説明の趣旨があまりよくわかんないんだけど、いずれにしろ、防潮定のところの評価点を設けているんだから、防潮ていうのを、
2:28:13	ところの評価水位は出てるんですよ。出すんですよ。
2:28:19	より棒
2:28:21	そこで水位は出ちゃってるんところどりが防潮てに対して影響のある波源なのかってのはそちの結果でわかるはずなんだけど。
2:28:32	これって何に使ってるんですかって言うこの北側の評価。
2:28:37	点というか評価面は、
2:29:25	北海道電力のムロタでございます。北側のこの防潮ての
2:29:31	先ほどのABと入れてる理由ですけれども 101 ページをご覧いただきたいんですけど。
2:29:41	文章考慮する防潮てのさらにこの北側のほうで
2:29:46	ちょっと壊す前に
2:29:48	この辺で高くなった水が考案したものを、例えば 101 ページで言う北部なしを壊したときに、
2:29:58	大きい防潮点に対してこの北側から遡上して行って水位が高くなる。
2:30:04	ものを逃がさないためにここについても
2:30:09	北側の日についても着目してここでも高い水が出てこないかっていうのを、
2:30:14	探す趣旨で今回は入れています。
2:30:20	わかりづらいんですかね。
2:30:46	97 年からやっぱり有効今度送って、
2:30:50	刀禰様、どこに南部の取得北部の使用時に、結果として、もう調停のところの
2:30:58	Cは出るわけですよ。
2:31:04	どうしてるんですよこれ。
2:31:09	パラスタも含めて、
2:31:13	防潮低の全面としては、ここの 9 房
2:31:19	協定の
2:31:21	内側のところもう水位を出して、
2:31:24	いるということですよ、この 102 ページの図を見る限りにおいては、
2:31:31	であれば、別に。
2:31:34	評価っていう設けなくたって防潮ていうのところで、その波源が影響あるかって、
2:31:39	って言っちゃいますよね。

2:32:30	規制規制庁タニですけど、結局、この 102 ページの北側北側帯っていうのを他の評価地点と大分位置付けが違うように説明聞いてて思ってます。で、そうそうそう輸送有効説明なんだとは思んですけどこれって、
2:32:47	必要なのかどうなのかっていうのは先ほど調整官言った通りです。で、なおかつ、これ他の波源
2:32:57	でも同じようなことをされるんですかねとか、この最終的にこの評価点っていうと、影響敷地への影響を見る評価点のことかと我々ちょっと思ってしまうので、ちょっとこれ日要否だとかここに並べるべき評価点なのとかも、
2:33:16	詰めてですね、ちょっと考えていただけたらなと思います。ちゃんと説明していただけたらなと思います。
2:33:26	必要性も含めてわかるようにちょっと資料の構成再考させていただきます。
2:33:34	また、本当に必要なか不要であれば不要というような理由も、
2:33:39	わかるようにしたいと思います。以上です。
2:34:13	規制庁サグチですけども、すみませんもう 1 点だけ本当最後最後というか細かいことなんですけど、101 ページの敷地北側防潮堤内部の建屋って、これ具体的に
2:34:26	何人になるんですか。
2:34:30	サイトウ電力のムロタですけども、
2:34:33	ちょっと内部の建屋というのは
2:34:37	補修用の
2:34:39	補修する会社等なんていうんですかね、協力会社の方々が入っている建屋になります。はい、サグチ層から少なくとも重要施設ではないということによろしいですよ。
2:34:51	はい、その認識で問題ありません。
2:34:53	はい、サグチです。わかりました。ありがとうございます。
2:35:21	規制庁タニです。ちょっともう時間も過ぎてますんで、この辺でヒアリングおりと 思うんですけど、
2:35:29	多分これいろいろ追加だとかされて時間かかるんだと思うんですけど、例えばほかのサイトのあの大間でやってるように、派遣の話。
2:35:39	そういったもので介護かけるとか、そういった選択肢もあると思いますので、ちょっとその資料つく資料ができる。時間だとかそんなものも、こう考えてもらって、どのように進めたらいいのかっていうのもですね。
2:35:54	ちょっと考えていただけたらと思いますけど。
2:35:59	まずどれぐらいかかりそうですかこうこれ一式を
2:36:03	直すとしたら、
2:36:10	北海道電力オクデラでございます。

2:36:13	その作業量とか、主に机上の作業にはなってきますけれども、ちょっと
2:36:20	一応
2:36:22	多岐にわたってますので修正内容というのは見積もって別途お知らせしたいと思います。
2:36:30	よろしくお願いします。
2:36:34	規制庁規制庁の伊藤ですけども。
2:36:37	これ、
2:36:38	後半の部分って結構時間かかりそうですね感覚的にはそこだけちょっと教えてもらえますか。
2:36:58	すみませんオクデラでございます。後半というところの辺りのことでしょうか。
2:37:07	すみません。
2:37:09	計算結果の辺りの波源波源設定と計算古い実際の計算の話の、はい。起こりますと、
2:38:22	すみません。
2:38:25	ちょっと、少しお時間いただいて検討させていただきたいなと思います。
2:38:32	また、タニですけど、そそな一、二週間できるとかそういうオダではないんですよね。どうなんで
2:38:40	例えば次のヒアリングするこれ全部直して5月入ってすぐにできるようなものだったら続けてよろしいとかそういうことでございますが、そういう話ではないでちょっとやってできるっていう感じではないです。はい、それを確認した良くて、
2:38:58	ある程度時間かかるっていうことだと思いますので、またそのロジ的に連絡もいただけたらと思います。どれぐらいかかりそうかっていうのはですね。
2:39:08	わかりました。
2:39:16	規制庁側からの確認は以上ですけど、何か北海道電力からあれば、お願いします。
2:39:25	ありません。
2:39:29	はい。それではヒアリングを終わりたいと思います。お疲れ様でした。